

平成28年度

一 般 会 計
国民健康保険特別会計
白石町 後期高齢者医療特別会計 決算説明報告書
農業集落排水特別会計
特定環境保全公共下水道特別会計

佐賀県白石町

決算説明報告書の編集にあたって

1. この報告書は、平成28年度に実施した主要な事業の成果について決算書の款・項・目ごとに記載したものであります。
2. 主要な事業についての説明でありますので、決算額（予算額）欄の計数については、決算書の目の合計と一致しない場合があります。
3. この報告書は、地方自治法第233条第5項に規定する「主要な施策の成果を説明する書類」として位置するものであります。

目 次

・平成28年度決算指標等・健全化判断比率・資金不足比率	・・・・	1	・地域子育て支援事業	・・・・	26
・歳入に関する増減額調	・・・・	2	・不妊治療支援事業費	・・・・	27
・性質別経費に関する増減額調	・・・・	3	・予防接種事業費	・・・・	28
・地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費	・・・・	4	・成人検診事業費	・・・・	29
【総務課】			【長寿社会課】		
・地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業	・・・・	5	・障害者自立支援給付費	・・・・	30
・防犯対策費	・・・・	6	・重度心身障害者医療給付費	・・・・	31
・参議院議員通常選挙費	・・・・	7	・敬老の日記念事業	・・・・	32
・白石町長・町議会議員選挙費	・・・・	8	・介護予防事業費	・・・・	33
・防災施設整備費	・・・・	9	・生活支援体制整備事業費	・・・・	34
			・在宅医療・介護連携推進事業費	・・・・	35
			・地域医療介護総合確保事業	・・・・	36
【企画財政課】			【生活環境課】		
・国土利用計画費	・・・・	10	・一般廃棄物収集運搬事業	・・・・	37
・公共施設マネジメント費	・・・・	11	・容器包装廃棄物再商品化事業	・・・・	38
・婚活サポート事業費	・・・・	12	・容器包装廃棄物収集運搬事業	・・・・	39
・コミュニティタクシー運行事業	・・・・	13			
【税務課】			【水道課】		
・個人町民税	・・・・	14	・上水道高料金対策補助金	・・・・	40
・法人町民税	・・・・	15			
・固定資産税	・・・・	16	【下水道課】		
・軽自動車税	・・・・	17・18	・浄化槽整備推進事業	・・・・	41
・町たばこ税	・・・・	19	・公共下水道等接続促進事業	・・・・	42
【住民課】			【農業振興課】		
・ヘルスケアポイント事業	・・・・	20	・しろいし農業塾(繰越明許)	・・・・	43
【保健福祉課】			・新規就農・経営継承総合支援事業	・・・・	44
・地域福祉計画策定費	・・・・	21	・施設園芸等被害対策事業(繰越明許)	・・・・	45
・臨時福祉給付金事業	・・・・	22	・さが園芸農業者育成対策事業	・・・・	46
・児童手当	・・・・	23	・玉葱生産安定対策事業	・・・・	47
・町立保育園公設民営費	・・・・	24	・産地競争力強化事業(強い農業づくり交付金)	・・・・	48
・学童保育事業費	・・・・	25	・さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業	・・・・	49
			・直接支払推進事業費	・・・・	50

・さが肥育素牛・自給飼料生産拡大施設等整備 ・・・ 51

【産業創生課】

・ふるさと応援事業費 ・・・ 52
・地域おこし協力隊推進事業(道の駅関連) ・・・ 53
・道の駅施設整備事業 ・・・ 54
・6次産品販路拡大事業(地方創生加速化交付金事業・繰越明許) ・・・ 55
・6次産業推進事業費 ・・・ 56
・新規農産物開発研究費 ・・・ 57
・しろいしブランド確立対策事業 ・・・ 58
・観光費 ・・・ 59
・まちおこし事業 ・・・ 60

【農村整備課】

・多面的機能支払交付金・農地維持支払事業 ・・・ 61
・ 〃 〃 ・資源向上支払(共同活動)事業 ・・・ 62
・ 〃 〃 ・資源向上支払(長寿命化)事業 ・・・ 63
・基幹水利施設ストックマネジメント事業 ・・・ 64
・地域農業水利施設ストックマネジメント事業 ・・・ 65
・農業基盤整備促進事業 ・・・ 66
・基幹水利施設管理事業費(佐賀西部白石地区) ・・・ 67
・ため池等整備事業費 ・・・ 68
・漁業環境保全事業費 ・・・ 69
・漁港整備事業費(住ノ江) ・・・ 70

【建設課】

・住民協働・道路等環境整備事業費 ・・・ 71
・社会資本整備総合交付金事業(道路ストック総点検事業) ・・・ 72
・社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良費) ・・・ 73
・道路新設改良費 ・・・ 74
・橋りょう長寿命化事業 ・・・ 75
・橋りょう長寿命化事業(繰越明許) ・・・ 76
・りんりん公園整備事業 ・・・ 77
・りんりん公園整備事業(繰越明許) ・・・ 78
・パークゴルフ場整備費(繰越明許) ・・・ 79

・急傾斜地崩壊防止事業費 ・・・ 80
・急傾斜地崩壊防止事業費(繰越明許) ・・・ 81
・公営住宅ストック総合改善事業 ・・・ 82

【学校教育課】

・小学校ふるさと理解促進事業 ・・・ 83
・学校教育支援員(スクールアシスタント)配置事業 ・・・ 84
・コミュニティ・スクール事業費 ・・・ 85
・放課後等補充学習支援事業 ・・・ 86
・小学校施設整備費 ・・・ 87
・中学校施設整備費 ・・・ 88

【生涯学習課】

・文化活動推進・文化財保護費 ・・・ 89
・青少年育成費 ・・・ 90
・ふくどみマイランド管理費(駐車場トイレ改築) ・・・ 91
・町スポーツ大会費 ・・・ 92
・ロードレース大会費(歌垣の郷ロードレース大会) ・・・ 93
・白石社会体育館改修事業費 ・・・ 94

《特別会計》

・国民健康保険特別会計 ・・・ 95～104
・後期高齢者医療特別会計 ・・・ 105
・農業集落排水特別会計 ・・・ 106
・特定環境保全公共下水道特別会計 ・・・ 107

《平成28年度契約関係一覧表》

地方財政状況調査(決算統計)による財政分析及び健全化判断比率・資金不足比率

○ 平成28年度決算指標等

指標等	平成27年度	平成28年度
経常収支比率(%)	86.4	91.0
うち人件費	26.2	26.0
うち物件費	10.5	10.4
うち扶助費	8.6	9.3
うち補助費等	9.1	10.1
うち公債費	17.5	19.5
実質収支比率(%)	3.5	5.1
標準財政規模(千円)	8,050,164	7,984,894
財政力指数	0.335	0.335
実質公債費比率(%)	6.9	6.9

○ 健全化判断比率(財政健全化法による指標)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成28年度決算に基づく比率(%)	—	—	6.9	4.2
早期健全化基準(%)	13.75	18.75	25.0	350.0
財政再生基準(%)	20.00	30.00	35.0	—

実質赤字比率から将来負担比率までの4指標のうち、いずれかが「早期健全化基準」あるいは「財政再生基準」を超えると、「財政健全化計画」あるいは「財政再生計画」を策定し、財政の立て直しを行わなければならない。

○ 公営企業会計に係る資金不足比率(財政健全化法による指標)

区分	公営企業会計	資金不足比率
平成27年度決算に基づく比率(%)	水道事業会計	—
	農業集落排水特別会計	—
	特定環境保全公共下水道特別会計	—
経営健全化基準(%)		20.0

資金不足比率が「経営健全化基準」を超えると、「経営健全化計画」策定することとなる。上記の各公営企業会計とも「黒字」であったため、資金不足比率は算定されない。

歳入に関する増減額調

(単位:千円)

区 分	平成27年度 決算額 A	平成28年度		
		決算額 B	増減額 C = B - A	増減率 C/A
1 地方税	2,140,489	2,197,031	56,542	2.6
2 地方譲与税	144,650	146,929	2,279	1.6
3 各種交付金	483,953	422,869	△ 61,084	△ 12.6
うち地方消費税交付金	442,026	386,657	△ 55,369	△ 12.5
4 地方特例交付金	7,330	8,081	751	10.2
5 地方交付税	5,517,611	5,383,763	△ 133,848	△ 2.4
(1)普通交付税	4,981,991	4,899,954	△ 82,037	△ 1.6
(2)特別交付税	535,619	483,809	△ 51,810	△ 9.7
(3)震災復興特別交付税	1	0	△ 1	△ 100.0
6 使用料・手数料	254,692	248,919	△ 5,773	△ 2.3
7 国庫支出金	1,039,396	1,008,966	△ 30,430	△ 2.9
うち普通建設事業費支出金	79,002	59,881	△ 19,121	△ 24.2
8 県支出金	1,164,899	1,246,548	81,649	7.0
9 繰入金	553,670	974,300	420,630	76.0
10 繰越金	476,956	383,049	△ 93,907	△ 19.7
11 地方債	2,336,600	589,000	△ 1,747,600	△ 74.8
うち減税補てん債	0	0	0	-
うち臨時財政対策債	432,800	340,000	△ 92,800	△ 21.4
12 その他	616,979	739,810	122,831	19.9
うち諸収入中貸付金元利収入	52,010	52,001	△ 9	△ 0.0
歳入合計(1~12)	14,737,225	13,349,265	△ 1,387,960	△ 9.4
うち経常一般財源	7,776,147	7,705,502	△ 70,645	△ 0.9

※ 平成28年度 地方財政状況調査表より

性質別経費に関する増減額調

(単位:千円)

区 分	平成27年度 決算額 A	平成28年度		
		決算額 B	増減額 C = B - A	増減率 C/A
1 義務的経費	5,544,006	5,737,383	193,377	3.5
(1) 人件費	2,364,288	2,312,133	△ 52,155	△ 2.2
(イ)うち職員給	1,491,589	1,482,132	△ 9,457	△ 0.6
うち基本給	1,027,716	1,001,316	△ 26,400	△ 2.6
うちその他の手当	463,873	480,816	16,943	3.7
(ロ)うち退職金	276,111	274,995	△ 1,116	△ 0.4
(2) 扶助費	1,726,545	1,844,010	117,465	6.8
(3) 公債費	1,453,173	1,581,240	128,067	8.8
2 投資的経費	1,191,824	1,573,994	382,170	32.1
うち普通建設事業費	1,191,824	1,568,391	376,567	31.6
(イ) うち補助事業費	722,980	796,096	73,116	10.1
(ロ) うち単独事業費	424,824	683,162	258,338	60.8
3 その他の経費	7,618,346	5,421,875	△ 2,196,471	△ 28.8
(1) うち物件費	1,574,930	1,721,007	146,077	9.3
(2) うち補助費等	3,405,450	1,477,902	△ 1,927,548	△ 56.6
(3) うち積立金	942,284	584,095	△ 358,189	△ 38.0
(4) うち貸付金	52,000	52,000	0	0.0
(5) うち繰出金	1,565,624	1,507,971	△ 57,653	△ 3.7
歳出合計 (1~3)	14,354,176	12,733,252	△ 1,620,924	△ 11.3

※ 平成28年度 地方財政状況調査表より

平成28年度地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費

平成26年4月1日より消費税率(国・地方)が5%から8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収部分については、その使途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

(歳入) 地方消費税交付金(社会保障財源化分) 174,926千円
 (歳出) 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 3,436,652千円

(単位:千円)

事業名	経費 (決算額)	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国県支出金	町債	その他	引上げ分の地方消費税(社会保障財源化分の市町村交付金)	その他
社会福祉事業	40,398	4,547	0	529	2,057	33,265
障害者福祉事業	603,594	440,208	0	3,974	30,722	128,690
老人福祉事業	111,025	15,050	1,000	42,980	5,652	46,343
児童福祉事業	1,216,012	430,739	0	139,862	61,896	583,515
子ども・子育て支援事業	50,791	29,855	0	6,260	2,585	12,091
国民健康保険事業	245,323	97,388	0	0	12,486	135,449
介護保険事業	435,037	0	0	0	22,144	412,893
後期高齢者医療事業	506,898	82,909	0	0	25,802	398,187
子ども医療事業	42,793	19,127	18,000	58	2,178	3,430
保健衛生事業	104,112	32,264	4,000	5,787	5,299	56,762
疾病予防事業	80,669	622	0	2,963	4,105	72,979
合計	3,436,652	1,152,709	23,000	202,413	174,926	1,883,604

一般会計

単位:千円

年度	28	会計	一般会計									
款	2	項	1	目	10	細事業名	地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業			所属	総務課 広報情報係	
目名称	広報広聴費					財源内訳					決算書頁	
決算額	21,688					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	(22,347)						6,950			14,738	58	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章			ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実	

1 事業概要

日本年金機構の情報流出事案を受け、マイナンバー制度の本格稼働を見据えた地方自治体の情報セキュリティに係る抜本的な対策が行われることとなり、総務省の情報セキュリティ対策の指針に従い、LGWAN接続系となる庁舎内の内部情報系システム(財務会計・文書管理・庶務事務など)で利用する事務用パソコンをインターネットから分割する。
また、マイナンバー事務系となる杵藤広域電算センターの端末についても、二要素認証におけるID・パスワード以外での認証の設定及び情報持ち出し禁止設定を併せて行う。情報セキュリティ強化を図る一方、インターネット上のホームページ閲覧や電子メール送受信については、クラウドによるインターネット環境や無線LAN環境を構築することで事務の停滞がないよう努める。

2 事業実績

- ① 庁舎内ネットワーク設定変更業務委託料 20,520,000 円
 - ・LGWAN接続とインターネット接続を分割する設定変更作業
 - ・仮想環境によるインターネット閲覧及び電子メール送受信環境の構築
 - ・インターネット用無線LAN環境等整備
 - ・インターネット経由でのデータ交換領域整備
- ② 杵藤広域圏電算センター情報セキュリティ強化対策委託 1,168,128 円
 - ・杵藤電算センター端末については、二要素認証の設定、USBメモリ等により情報を持ち出し出来ない設定

3 事業効果

- ・マイナンバー制度の本格稼働を前に、LGWANとインターネットを分割を行うことで、庁舎内情報セキュリティの強化の実施
- ・マイナンバーを含む住民情報を取り扱う杵藤広域電算センターの機器において、情報セキュリティの強化の実施

年度	28	会計	一般会計																																	
款	2	項	1	目	13	細事業名	防犯対策費				所属	総務課 危機管理・防災係																								
目名称	諸費					財源内訳					決算書頁																									
決算額	7,153					国庫	県費	地方債	その他	一般財源																										
(予算額)	(7,471)								6,400	753	61																									
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 2 節	災害に強く安全・快適な生活環境の整備																									
<p>1 事業概要</p> <p>犯罪被害の未然防止に資するため、平成27年度から28年度にかけて、LED防犯灯整備に要する経費の一部を補助する。 犯罪被害防止のため、警察署・金融機関等と連携した啓発活動を行う。また、突発的な事件等の対応を行う。 防犯灯青少年育成事業に併せて防犯推進委員が防犯パトロールを行う。 防犯カメラの維持管理を行う。</p>																																				
<p>2 事業実績</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%; vertical-align: top;">8 報償費</td> <td style="width:70%; vertical-align: top;">防犯推進員報償費</td> <td style="width:10%; text-align: right; vertical-align: top;">75,600 円</td> <td style="width:10%; text-align: right; vertical-align: top;">75,600 円</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">13 委託料</td> <td style="vertical-align: top;">防犯カメラ保守点検委託料</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">48,600 円</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">48,600 円</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">18 備品購入費</td> <td style="vertical-align: top;">防犯カメラ購入費</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">247,320 円</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">247,320 円</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">19 負担金、補助金及び交付金</td> <td style="vertical-align: top;">白石地区防犯協会負担金</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">557,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="vertical-align: top;">防犯灯設置補助金</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">6,223,550 円</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">6,780,550 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="vertical-align: top;">※歳入 ふるさと基金 6,400千円充当</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>													8 報償費	防犯推進員報償費	75,600 円	75,600 円	13 委託料	防犯カメラ保守点検委託料	48,600 円	48,600 円	18 備品購入費	防犯カメラ購入費	247,320 円	247,320 円	19 負担金、補助金及び交付金	白石地区防犯協会負担金	557,000 円			防犯灯設置補助金	6,223,550 円	6,780,550 円		※歳入 ふるさと基金 6,400千円充当		
8 報償費	防犯推進員報償費	75,600 円	75,600 円																																	
13 委託料	防犯カメラ保守点検委託料	48,600 円	48,600 円																																	
18 備品購入費	防犯カメラ購入費	247,320 円	247,320 円																																	
19 負担金、補助金及び交付金	白石地区防犯協会負担金	557,000 円																																		
	防犯灯設置補助金	6,223,550 円	6,780,550 円																																	
	※歳入 ふるさと基金 6,400千円充当																																			
<p>3 事業効果</p> <p>防犯灯設置事業により町内428箇所にLED防犯灯を設置した。 また、各種関係団体と連携し、犯罪防止啓発活動、パトロール、出前講座等を行うことにより犯罪発生抑止に繋がった。</p>																																				

年度	28	会計	一般会計			細事業名	参議院議員通常選挙費				所属	総務課 総務係	
款	2	項	4	目	3								
目名称	参議院議員通常選挙費					財源内訳					決算書頁		
決算額 (予算額)	11,703 (11,715)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源			66・67
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 6 章		参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】					基本計画 第 2 節		健全な行財政運営の推進	

1 事業概要 平成28年7月25日任期満了に伴う第24回参議院議員通常選挙に係る執行経費

①任期満了日	平成28年7月25日(月)
②公示日	平成28年6月22日(水)
③選挙期日	平成28年7月10日(日)

2 事業実績

科目	予算額	実 績				決算額
		事項	単価(円)	員数等	金額(円)	
1.報酬	935	投票管理者(期日前・当日)		30人	255,300	929
		投票立会人(期日前・当日)		60人	601,200	
		開票管理者	10,600	1人	10,600	
		開票立会人	8,800	7人	61,600	
3.職員手当等	7,599	職員時間外勤務手当			7,586,203	7,598
		管理職特別勤務手当	12,000	1人	12,000	
7.賃金	199	日々雇用職員賃金	6,400	1人 28日	198,857	199
9.旅費	14	費用弁償	1,000	14日人	14,000	14
11.需用費	942	消耗品費(ポスター掲示板他)			715,704	941
		食糧費(投票管理者・立会人弁当代)他	弁当500	129個	81,300	
		印刷製本費(入場券等)			143,693	
12.役務費	1,066	通信運搬費(郵便料・電話料)			553,701	1,065
		システム等機器点検手数料			511,542	
13.委託料	616	ポスター掲示場設置管理撤去			389,880	615
		選挙公報配布委託料	30	7502世帯	225,060	
14.使用料及び賃借料	344	期日前投票システムリース料	18,137	12月	217,644	342
		投開票場借上料			71,440	
		事務機器等借上料			53,112	
合 計	11,715				11,702,836	11,703

歳入

科目	予算額	決算額
15.県支出金 3.県委託金 参議院議員通常 選挙事務委託費	11,715	11,427

3 事業効果 投開票とも適切な事務執行ができた。

年度	28	会計	一般会計								
款	2	項	4	目	6	細事業名	白石町長・議会議員選挙費			所属	総務課 総務係
目名称	白石町長・議会議員選挙費					財源内訳					決算書頁
決算額	13,395					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	67
(予算額)	(17,207)									13,395	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 6 章		参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】				基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進	

1 事業概要 平成29年2月5日任期満了に伴う白石町長選挙及び白石町議会議員選挙に係る執行経費

①任期満了日	平成29年2月5日(日)
②告示日	平成29年1月24日(火)
③選挙期日	平成29年1月29日(日)

2 事業実績

歳出 単位:千円

科目	予算額	実 績				決算額
		事項	単価(円)	員数等	金額(円)	
1.報酬	685	投票管理者(期日前・当日)		17人	183,900	684
		投票立会人(期日前・当日)		34人	354,200	
		開票管理者	10,600	1人×3日	31,800	
		開票立会人	8,800	13人	114,400	
3.職員手当等	7,548	職員時間外勤務手当			5,810,934	5,823
		管理職特別勤務手当	12,000	1人	12,000	
7.賃金	224	日々雇用職員賃金	6,400	1人 23日	149,763	150
9.旅費	24	費用弁償	1,000	15日人	15,000	15
11.需用費	3,696	消耗品費(ポスター掲示板他)			2,217,571	3,013
		燃料費 投票所暖房用			8,064	
		食糧費(投票管理者・立会人弁当代)他	弁当500	91個	58,500	
		印刷製本費(投票用紙・入場券等)			728,897	
12.役務費	2,765	通信運搬費(郵便料・電話料)			1,126,426	1,708
		システム等機器点検手数料			581,434	
13.委託料	2,029	ポスター掲示場設置管理撤去			1,600,560	1,826
		選挙公報配布委託料	30	7508世帯	225,240	
14.使用料及び賃借料	236	投開票場借上料			66,920	177
		事務機器等借上料			109,787	
合計	17,207				13,395,396	13,395

3 事業効果 投開票とも適切な事務執行ができた。

年度	28	会計	一般会計										
款	9	項	1	目	4	細事業名	防災施設整備費				所属	総務課 危機管理・防災係	
目名称	防災費					財源内訳					決算書頁		
決算額	41,090					国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
(予算額)	(199,183)								20,000	21,090	130		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第1章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第2節	災害に強く安全・快適な生活環境の整備		

1 事業概要

防災行政無線を補完する情報伝達手段を整備し、災害時の情報伝達を確実に行う。

防災行政無線を補完する情報伝達手段の整備

- ① 緊急放送端末設置(有線方式)
- ② 登録制メール配信システム
- ③ 防災行政無線機能強化(防災行政無線親機改修・音声合成装置・自動応答システム)
- ④ Jアラート自動起動システム整備

2 事業実績

15.工事請負費

- ① 緊急放送端末整備費 0千円(次年度繰越156,736千円)
- ② 登録制メール配信システム整備費 299千円
- ③ 防災行政無線機能強化 39,906千円
- ④ Jアラート自動起動システム整備 885千円

※歳入 振興基金 20,000千円充当

3 事業効果

防災行政無線の機能強化、メール配信システムの整備を行ったことにより、多様な媒体による災害情報・緊急情報の提供が可能となった。

年度	28	会計	一般会計									
款	2	項	1	目	7	細事業名	国土利用計画費				所属	企画財政課 政策推進係
目名称	企画総務費					財源内訳					決算書頁	
決算額	2,008					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	(2,059)									2,008		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】					基本計画 第 1 節	生活基盤の充実	

1 事業概要

国土利用計画法第9条で規定されている市町村の国土利用計画は、全国計画及び都道府県計画を基本に策定するものとされている。(策定自体は任意)
 国土利用計画は、都市計画法、農業振興地域の整備に関する法律、森林法、自然公園法、自然環境保全法等の「個別規制法」に対する上位計画として、土地利用に関する町の将来像を示す行政上の指針となる総合的かつ長期的な計画。
 本町では有明海沿岸道路の開通を控えるなどの環境の変化を踏まえ、今後のまちづくりの根幹をなすものとして計画策定を行った。

2 事業実績

(1) 審議会委員報酬(4回開催)	1 報酬	全委員16人中職務出席1人分を除く15人分	6,000円*延べ50人 =300,000円
(2) 審議会委員出席費用弁償(4回開催)	9 旅費	全委員16人中職務出席1人分を除く15人分	1,000円*延べ50人 =50,000円
(3) 策定事務費	11 需用費	消耗品費	48,797円
(4) ファシリテーション業務委託、土地利用現況図等作成業務委託	13 委託料	ファシリテーション業務(町職員向けワールドカフェ実施(2回)、町内8箇所でのワールドカフェ実施、審議会でのワールドカフェ実施)、「しろいしの未来を描こう会」チラシ原稿作成	1,123,200円
		土地利用現況図、土地利用構想図の作成	486,000円

3 事業効果

町の区域における国土利用について、適正かつ合理的な土地利用を図ることができる。

単位:千円

年度	28	会計	一般会計									
款	2	項	1	目	7	細事業名	公共施設等マネジメント費				所属	企画財政課 政策推進係
目名称	企画総務費					財源内訳					決算書頁	
決算額	5,838					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	(7,078)									5,838	53	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 6 章			参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】				基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進	

1 事業概要

平成26年4月22日付け総務第74号総務大臣通知「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」において、全国の市区町村は、公共施設の老朽化、人口減少、財政状況の悪化に伴い、早急に公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点により、更新・統廃合・長寿命化を計画的に行うよう要請されたところ。このため、本町が保有する施設の全体像や人口、財政の将来の見込みを考慮し、将来のまちづくりの観点から、今後の維持管理のあり方として白石町公共施設等総合管理計画を策定した。(平成27年度からの繰越事業)

2 事業実績

節	内容	決算額
11 需用費(消耗品費)	町内全世帯配布用計画書概要版作成用紙代及び大型印刷機インク代	221,805円
13 委託料	白石町公共施設等総合管理計画策定支援業務委託 【主な業務内容】 ・全公共施設等(公共建築物及び土木施設等)のデータ調査、整理及び将来的な維持管理費用等の算出 ・比較対象とする他団体データの調査 ・庁内会議の資料及び会議録作成 ・その他計画書作成に必要な資料調査	5,616,000円

3 事業効果

公共施設等に関する町民サービスが著しく低下しないように、「持続的な行財政運営」と「適切な公共サービスの提供」を両立し、財政負担の軽減・平準化や公共施設等の最適な配置を行うことができる。

年度	28	会計	一般会計									
款	2	項	1	目	8	細事業名	婚活サポート事業費				所属	企画財政課 白石創生推進係
目名称	地域づくり推進費					財源内訳					決算書頁	
決算額	935 (1,368)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	54・55	
(予算額)												
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第1章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第1節	生活基盤の充実		

1 事業概要

婚活サポーターを設置し、結婚を希望する人からの相談や情報提供、ならびに婚活サポーターの連携による引き合わせなどを随時行った。ひいては、独身者の未婚化、晩婚化に歯止めをかけるきっかけとなり、幸せな家庭づくりの推進と将来的な少子化対策及び定住促進に寄与するもの。

2 事業実績

- ・第2期婚活サポーター 23名 任期(平成28年4月1日から平成30年3月31日)
- ・婚活サポートシート受理状況(男:66人、女:25人)平成29年3月31日現在 91人

(単位:円)

節	細節	実績額	備考
8.報償費	講師謝金	0	
	婚活サポーター謝礼	782,000	婚活サポーター謝礼
11.需用費	消耗品費	28,412	婚活サポート事業にかかる消耗品
12.役務費	広告料	10,000	婚活サポート事業広告
	傷害保険料	115,000	婚活サポーター傷害保険料
14.使用料及び賃借料	会場借上料	0	

3 事業効果

婚活サポーターの方達に、熱心な婚活相談や引きあわせを行っていただいたことにより、相談者の異性と接する時のマナーや、結婚に対する意識を高めることができた。

年度	28	会計	一般会計									
款	2	項	1	目	8	細事業名	コミュニティタクシー運行事業			所属	企画財政課 白石創生推進係	
目名称	地域づくり推進費					財源内訳						
決算額	15,695 (予算額) (16,076)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 57	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第1章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第3節	体系的な交通網の整備・充実		

1 事業概要

平成17年10月から、地域生活の向上や合併後の町の一体化を強化することなどを目的に、定時定路12路線で運行を開始した。その後、利用者のニーズや利用実態を踏まえた見直しを行い、平成22年7月から、現行の定時定路2路線とデマンド型の組み合わせによる運行に変更している。

2 事業実績

いこカー、予約制いこカーの適切な運行により、住民の生活交通手段の確保に寄与した。

名称	路線(地域)名	キロ程	H27利用者(人)	H28利用者(人)
いこカー	福富線	9.9km	3,002	2,598
	牛間田横手線	17.1km	4,251	4,743
予約制いこカー	須古・六角	-	1,644	1,616
	白石・北明	-	1,390	1,088
	福富	-	1,394	1,652
	有明	-	1,633	1,590
計			13,314	13,287

- ・小学生未満は、無料(保護者同伴に限る)
- ・小学生は半額
- ・身体障害者手帳(1種)所持者およびその介護人、療育手帳所持者およびその介護人、身体障害者手帳(2種)、精神障害者保健手帳所持者は半額(各種手帳を提示した場合に限る)
- ・運転免許証の自主返納者は半額(運転経歴証明書を提示した場合に限る)

※いこカー補助内訳 (運行キロ×145円×日数)－運賃収入(1人:200円)＝町補助額
 ※予約制いこカー補助内訳 (タクシーメーター料金)－運賃収入(1人:300円)＝町補助額

【決算内訳】

8.報償費 59,400 円
 11.需用費(印刷製本費) 213,840 円
 19.負担金、補助及び交付金 15,421,637 円
 白石町コミュニティタクシー運行費補助金 ・いこカー一分 9,091,847円 ・予約制いこカー一分 6,329,790円

3 事業効果

地域の実情に応じた交通弱者の方達の地域生活の向上や、町の活性化などに寄与した。

単位:千円

年度	28	会 計	一般会計 歳入									
款	1	項	1	目	1	細 事 業 名	個人町民税				所 属	税務課 町民税係
目名称		個人町民税				財 源 内 訳					決算書頁	
決 算 額		894,450				国 庫	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	7	
(予 算 額)		(878,500)										
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 6 章		参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			基本計画 第 2 節		健全な行財政運営の推進		

1 事業概要

趣 旨 個人町民税・県民税(住民税)は、「地域社会における様々な行政サービスの提供にあたって必要となる費用を、広く町民の皆様から、その能力に応じて負担していただく」という性格を持った税金で、その年の1月1日現在に居住していた市町村において、前年中の所得金額に応じて課税される地方税。

税の内容

- 【課税団体】 住所所在地の市町村又は事務所、事業所もしくは家屋敷所在の市町村(法2)
- 【納税義務者】 ① 町内に住所を有する個人……………個人の均等割額及び所得割額の納税義務を負う。(法294①I)
② 町内に事務所、事業所または家屋敷を有する個人で、町内に住所を有しない者……………個人の均等割額のみ納税義務を負う。(法294①II)
- 【賦課期日】 当該年度の初日の属する年の1月1日(法318)
- 【申告】 前年中所得を賦課期日現在の住所所在地の市町村に道府県民税及び市町村民税に関する申告書を提出しなければならない。(法317の2①)
- 【税率】
- | | | | | |
|-----------|------------|-------------|--|--------|
| 均等割 | 町民税 3,500円 | 所得割 | | 標準税率 |
| (法310、38) | 県民税 2,000円 | (法314の3,35) | | 町民税 6% |
| | | | | 県民税 4% |
- 【徴収方法】 普通徴収および特別徴収(給与特徴、年金特徴)の2つの方法。

2 事業実績

① 現年度課税分

● 収納状況

(単位:円)

年 度	調 定 額	収 入 決 算 額	不 納 欠 損 額	徴 収 率	収 入 未 済 額
H24年度	823,081,004	815,216,889	22,597	99.04%	7,841,518
H25年度	871,724,763	863,300,159	0	99.03%	8,424,604
H26年度	796,467,506	790,504,182	103,226	99.25%	5,860,098
H27年度	857,966,250	850,823,893	0	99.17%	7,142,357
H28年度	897,618,461	889,858,929	0	99.14%	7,759,532

② 滞納繰越分

● 収納状況

(単位:円)

年 度	調 定 額	収 入 決 算 額	不 納 欠 損 額	徴 収 率	収 入 未 済 額
H24年度	27,339,467	12,766,059	547,243	46.69%	14,026,165
H25年度	21,674,167	9,327,269	765,451	43.03%	11,581,447
H26年度	19,969,169	10,782,151	1,153,011	53.99%	8,034,007
H27年度	13,681,357	6,329,851	364,460	46.27%	6,987,046
H28年度	14,128,728	4,591,519	139,212	32.50%	9,397,997

単位:千円

年度	28	会計	一般会計 歳入			細事業名	法人町民税					所属	税務課 町民税係
款	1	項	1	目	2								
目名称		法人町民税				財源内訳					決算書頁		
決算額		70,188				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		7	
(予算額)		(64,970)											
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第6章		参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			基本計画 第2節		健全な行財政運営の推進			

1 事業概要

趣旨 法人等の町民税は、白石町内に事務所や事業所などを有する法人や、人格のない社団等に課税される税金。個人の町民税と同様に均等割と、国税である法人税の額に応じて負担する法人税割とがある。

税の内容

【納税義務者】

- ①町内に事務所、事業所がある法人
- ②町内に事務所、事業所はないが、寮・宿泊所などがある法人
- ③町内に事務所、事業所、寮などがある法人でない社団または財団で、代表者または管理人の定めのあるもの(収益事業を行うものを除く)

【課税標準】

法人税法により算出した法人税額が基本(各事業年度の所得金額及び退職年金等積立金の額及び清算所得金額。)

【税率】

所得割額 標準税率……9.7% 均等割額 税率 →
※H26年10月1日事業開始年より適用
(制限税率……12.1%)

区分	資本金の金額	従業員数	税率(年額)	法人数
第9号法人	50億円を超える	50人超	300万円	2
第8号法人	10億円を超え50億円以下	50人超	175万円	1
第7号法人	10億円を超え50億円以下	50人以下	41万円	17
第6号法人	1億円を超え10億円以下	50人超	40万円	2
第5号法人	1億円を超え10億円以下	50人以下	16万円	9
第4号法人	1,000万円を超え1億円以下	50人超	15万円	5
第3号法人	1,000万円を超え1億円以下	50人以下	13万円	47
第2号法人	1,000万円以下	50人超	12万円	5
第1号法人	1,000万円以下	50人以下	5万円	268
法人数 合計				356

【申告・納付】

各々の法人が定める事業年度終了後2か月以内に法人が自ら税額を計算し、町内の主たる事務所等が所在する町役場へ申告してその税額を納めます。

2 事業実績

① 現年度課税分

● 収納状況

年度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H24年度	80,436,600	80,436,600	0	100.00%	0
H25年度	76,770,100	76,717,800	0	99.93%	52,300
H26年度	86,291,700	86,091,700	0	99.77%	200,000
H27年度	66,076,400	66,046,400	0	99.95%	30,000
H28年度	70,177,700	70,157,700	0	99.97%	20,000

(単位:円)

② 滞納繰越分

● 収納状況

年度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H24年度	1,368,420	572,897	6,903	41.87%	788,620
H25年度	788,620	30,700	50,000	3.89%	707,920
H26年度	760,220	82,300	0	10.83%	677,920
H27年度	877,920	215,000	0	24.49%	662,920
H28年度	692,920	30,000	261,220	4.33%	401,700

(単位:円)

年 度	28	会 計	一般会計 歳入										
款	1	項	2	目	1	細 事 業 名	固定資産税					所 属	税務課 町民税係
目名称		固定資産税				財 源 内 訳					決算書頁		
決算額		962,481				国 庫	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源			
(予算額)		(955,400)									7		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 6 章		参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			基本計画 第 2 節		健全な行財政運営の推進			

1 事業概要

【趣 旨】

固定資産の保有と市町村の行政サービスとの間に存在する受益関係に着目し、資産価値に応じて毎年経常的に課税される物税。賦課期日(毎年1月1日)に、「土地・家屋・償却資産」を所有している納税義務者に課税される地方税。

【課税客体】

土地、家屋、償却資産

【税 率】

1.4/100(1.4%)

【課税団体】

所在市町村、配分を受けた市町村

【免税点】

【納税義務者】

固定資産の所有者

【賦課期日】

当該年度の初日の属する年の1月1日

【評価替え】

土地及び家屋については3年毎に評価の見直し
(・・・H24年度 → H27年度 → H30年度・・・)

土 地	30万円
家 屋	20万円
償 却 資 産	150万円

2 事業実績

① 現年度課税分

● 収納状況

(単位:円)

年 度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H24年度	920,932,800	905,905,379	647,400	98.37%	14,380,021
H25年度	942,237,200	927,602,782	633,700	98.45%	14,000,718
H26年度	956,127,500	944,011,726	0	98.73%	12,115,774
H27年度	953,791,900	942,724,627	117,000	98.84%	10,950,273
H28年度	964,819,700	953,062,749	85,700	98.78%	11,671,251

② 滞納繰越分

● 収納状況

(単位:円)

年 度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H24年度	58,829,680	22,691,525	2,274,931	38.57%	33,863,224
H25年度	48,108,445	16,284,940	1,481,400	33.85%	30,342,105
H26年度	44,342,723	17,123,601	2,152,669	38.62%	25,066,453
H27年度	37,153,727	11,804,817	1,348,889	31.77%	24,000,021
H28年度	34,955,294	9,418,416	1,254,438	26.94%	24,282,440

単位:千円

年度	28	会計	一般会計 歳入									
款	1	項	3	目	1	細事業名	軽自動車税①				所属	税務課 町民税係
目名称	軽自動車税					財源内訳					決算書頁	
決算額	91,223					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	8	
(予算額)	(92,500)											
白石町総合計画 (人と大地がうろおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 6 章			参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			基本計画 第 2 節		健全な行財政運営の推進	

1 事業概要

趣旨
税の内容

賦課期日(4月1日)現在において主たる定置場所所在市町村において所有している軽自動車の納税義務者に課税する。

【課税客体】
【課税団体】
【納税義務者】

原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車、二輪の小型自動車
上記、課税客体の主たる定置場所所在の市町村
a 軽自動車の所有者
b 所有権留保付売買があった場合は、買主をその軽自動車等の使用者とみなす。

【賦課期日】 4月1日
【納期】 5月31日

【標準税率】

車種	課税対象	税額(円)		課税台数(台)			
		業務用	自家用				
① 原動機付自転車	二輪	総排気量50cc以下		987台			
		総排気量50cc超90cc以下		86台			
		総排気量90ccを超えるもの		99台			
	三輪以上で総排気量20cc以上(ミニカー)		3,700円		65台		
② 軽自動車および小型特殊自動車	二輪(サイドカー付きのものを含む)		3,600円		206台		
	三輪(トラック又は三輪自動車)		3,900円		0台		
	四輪以上	乗用(5ナンバー車)	平成14年以前登録	8,200円	12,900円	2台	1,202台
		貨物(4ナンバー車)		4,500円	6,000円	3台	1,640台
		乗用(5ナンバー車)	平成15年1月1日から	5,500円	7,200円	2台	5,337台
		貨物(4ナンバー車)	平成27年3月31日まで登録	3,000円	4,000円	15台	2,801台
		乗用(5ナンバー車)	平成27年4月1日から	6,900円	10,800円		47台
		貨物(4ナンバー車)	平成28年4月1日まで登録	3,800円	5,000円	1台	160台
農耕用及び特殊自動車		農耕用	2,400円	4,700円	2,985台	90台	
③ 二輪の小型自動車		6,000円		414台			

【軽課税率】

車種	課税対象	税額(円)		課税台数(台)		
		業務用	自家用			
④ 軽自動車	四輪以上	乗用(5ナンバー車)	1,800円	2,700円	0台	1台
		貨物(4ナンバー車)	1,000円	1,300円	0台	1台
	四輪以上	乗用(5ナンバー車)	3,500円	5,400円	0台	138台
		貨物(4ナンバー車)	1,900円	2,500円	0台	0台
	四輪以上	乗用(5ナンバー車)	5,200円	8,100円	0台	129台
		貨物(4ナンバー車)	2,900円	3,800円	0台	15台

【対象】27年4月1日～28年3月31日に最初(新車)の新規検査を受けた車両(軽自動車)で下の(ア)～(ウ)のいずれかにあてはまるもの

(ア)電気自動車および天然ガス自動車(平成21年排出ガス規制に適合し、かつ、平成21年排出ガス基準値より10%以上窒素酸化物の排出量が少ないもの。)

(イ)平成17年排出ガス規制に適合し、かつ、平成17年排出ガス基準値より75%以上窒素酸化物の排出量が少ないものうち、乗用のものについては平成32年度燃費基準値より20%以上燃費性能の良いもの、貨物用のものについては平成27年度燃費基準値より35%以上燃費性能の良いもの。

(ウ)平成17年排出ガス規制に適合し、かつ、平成17年排出ガス基準値より75%以上の窒素酸化物の排出量が少ないものうち、乗用のものについては平成32年度燃費基準を満たすもの、貨物用のものについては平成27年度燃費基準値より15%以上燃費性能の良いもの。

単位:千円

年度	28	会計	一般会計 歳入										
款	1	項	3	目	1	細事業名	軽自動車税②				所属	税務課 町民税係	
目名称		軽自動車税				財源内訳					決算書頁		
決算額		91,223				国库	県費	地方債	その他	一般財源			
(予算額)		(92,500)									8		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第6章		参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】				基本計画 第2節		健全な行財政運営の推進			

2 事業実績

① 現年度課税分

● 収納状況

(単位:円)

年度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H24年度	73,090,300	72,061,100	0	98.59%	1,029,200
H25年度	74,192,200	73,243,929	0	98.72%	948,271
H26年度	75,833,500	75,048,300	0	98.96%	785,200
H27年度	76,500,700	75,732,300	0	99.00%	768,400
H28年度	91,769,200	90,642,586	7,200	98.77%	1,119,414

② 滞納繰越分

● 収納状況

(単位:円)

年度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H24年度	2,569,966	1,101,694	92,400	42.87%	1,375,872
H25年度	2,389,972	792,596	284,000	33.16%	1,313,376
H26年度	2,178,447	973,069	29,000	44.67%	1,176,378
H27年度	1,942,378	679,962	44,000	35.01%	1,218,416
H28年度	1,916,416	581,000	136,062	30.32%	1,199,354

年度	28	会 計	一般会計 歳入								単位:千円	
款	1	項	4	目	1	細 事 業 名	町たばこ税				所 属	税務課 町民税係
目名称	町たばこ税					財 源 内 訳					決算書頁	
決算額	178,133					国 庫	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	8	
(予算額)	(178,300)											

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】	基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進
-------------------------------	---------------	----------------------------	---------------	-------------

1 事業概要

趣 旨

製造たばこの製造者、特定販売業者または卸販売業者が小売販売業者に売り渡す場合に、その小売販売業者の営業所在の市町村が卸売業者等に課税する。最終的な担税者は消費者である。

町内でのたばこの購買促進を図ることにより、たばこ税の税込確保を目的とし、小売店組合等に助成事業を行う。

税の内容

【課税客体】	卸売販売業者等が行う小売販売業者、もしくは消費者への売渡または消費等にかかわる製造たばこ。
【課税団体】	たばこ小売販売業者の営業所所在の市町村
【納税義務者】	製造たばこの製造者、特定販売業者または卸売販売業者。
【課税標準】	売渡または消費等にかかわる製造たばこの本数。(H25年4月から県たばこ税の一部が町たばこ税に移行)
【税率】	旧3級品以外の紙巻たばこについては、1,000本につき5,262円。 旧3級品の紙巻たばこについては、1,000本につき2,925円
【徴収方法】	申告納付による普通徴収。
【納期】	当月分を翌月末までに納付。

2 事業実績

● 収納状況

(単位:円)

年度	調 定 額	収 入 決 算 額	収 入 未 済 額	徴 収 率	対前年比
H24年度	166,804,902	166,804,902	0	100.00%	99.39%
H25年度	194,014,085	194,014,085	0	100.00%	116.31%
H26年度	187,051,083	187,051,083	0	100.00%	96.41%
H27年度	185,575,224	185,575,224	0	100.00%	99.21%
H28年度	178,133,660	178,133,660	0	100.00%	95.99%

→ H25年4月税率改正

→ H28年4月税率改正(旧3級品のみ)

● たばこ売渡本数

(単位:本)

年度	旧三級品以外	旧三級品	総本数	対前年比
H24年度	35,401,185本	1,517,000本	36,918,185本	99.64%
H25年度	36,452,010本	1,666,080本	38,118,090本	103.25%
H26年度	34,796,485本	1,583,960本	36,380,445本	95.44%
H27年度	34,581,965本	1,444,860本	36,026,825本	99.03%
H28年度	33,141,912本	1,297,380本	34,439,292本	95.59%

年度	28	会計	一般会計									
款	4	項	1	目	1	細事業名	ヘルスケアポイント事業				所属	住民課 保険係
目名称	保健衛生総務費					財源内訳					決算書頁	
決算額	190 (予算額) (462)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	87	
									190			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章			健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 4 節	社会保障の充実	

1 事業概要

健康事業(集団健診受診者、人間ドック・脳ドック受診者及び健康づくりの取組みを行った)参加者に対し、商工会ポイントカードにポイントを付与する。

ポイントは付与実績に応じて商工会から1ポイントあたり1.5円で毎月請求される。

ポイントカードに付与されたポイントは280ポイントで満点となり、商工会カード会員の店で300円の商品券として利用ができる。

- ・集団健診 50ポイント
- ・人間ドック、脳ドック 50ポイント
- ・各種健康教室 30ポイント
- ・体重を測って健康チェック 50ポイント

2 事業実績

年度	ポイント	8.報償費
H28	126,750	190,125円

(内訳)

- ・集団健診 2,334人×50ポイント=116,700ポイント
- ・特定保健指導 32人×50ポイント=1,600ポイント
- ・人間ドック、脳ドック 14人×50ポイント=700ポイント
- ・各種健康教室 145人×30ポイント=4,350ポイント
- ・体重を測って健康チェック 68人×50ポイント=3,400ポイント

3 事業効果

当事業が健康への関心の意識づけになり、日頃の運動意識、食生活の改善への取組みが医療費の適正化、強いては国保事業の安定化に繋げることができた。

単位：千円

年度	28	会計	一般会計			細事業名	地域福祉計画策定費	所属	保健福祉課 福祉係		
款	3	項	1	目	1						
目名称	社会福祉総務費					財源内訳			決算書頁		
決算額 (予算額)	2,295 (2,470)					国庫	県費	地方債		その他	一般財源
										2,295	70・71
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第2章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第2節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実	

1 事業概要

第2期白石町地域福祉計画(平成29年度から、おおむね5年間)を平成28年度に策定した。
※本計画は、社会福祉法第107条に定める市町村地域福祉計画である。

2 事業実績

白石町では、第1期計画を平成22年度に策定し、平成23年度からおおむね5年間を計画期間としていたため、平成28年度に見直しを行った。
この計画をめぐる社会情勢の変化や、国や県における政策指針を踏まえ、他の計画との整合性を図りながら、幅広い地域住民参加の視点をもった福祉分野における総合的かつ基本的な計画また、基本的な方向性や取り組むべき施策を示す計画として、「第2期白石町地域福祉計画」を平成28年度に策定した。

単位：円

節	決算額	説明
8. 報償費	140,400	地域福祉計画策定委員報償費 策定委員会3回開催 5,400円×延べ26名分
13. 委託料	2,154,600	地域福祉計画策定業務委託料 町民意識アンケート調査、計画素案の作成など
合計	2,295,000	

3 事業効果

「第2期白石町地域福祉計画」を策定し計画を推進することにより、誰もが住みなれた地域で安心して生き生きと暮らすことができる社会を目指す。

年度	28	会計	一般会計									
款	3	項	1	目	1	細事業名	臨時福祉給付金事業				所属	保健福祉課 福祉係
目名称	社会福祉総務費					財源内訳					決算書頁	
決算額	14,655					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	(15,406)					14,245				410	70~72	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第2章			健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第4節	社会保障の充実	

1 事業概要

平成26年4月に消費税率が8%に上げられたことに伴い、所得の低い方々の影響を緩和するため、『臨時福祉給付金』の支給を引き続き行うもの。
(食料品支出額の増加分(3%アップ分)の平成28年10月~29年3月末までの6月分として、給付対象者一人につき、3千円)

【基準日】 …… 平成28年1月1日

【給付対象者】 …… 平成28年1月1日において、白石町の住民基本台帳に記録されている方で、平成28年度町民税(均等割)が課税されていない者。

ただし、以下の場合は対象外。

①給付対象者を扶養している方が課税されている場合

④国立ハンセン病療養所等入所者家族生活介護費の受給者である場合。

②生活保護制度の被保護者となっている場合。

⑤ハンセン病療養所非入所者給付金(援護加算分)の受給者である場合。

③中国残留邦人等に対する支援給付の受給者である場合。

【給付額】 …… 支給対象者一人につき、3,000円。

【実施方式】 …… 実施主体は、市町村(町が実施する給付事業に要する経費を対象として、国が補助金(補助率10/10)を交付)

2 事業実績

単位:円

節	区分	決算額	説明
3.	職員手当等	780,017	時間外勤務手当
7.	賃金	1,342,563	日々雇用職員賃金
11.	需用費		
	消耗品費	545,480	封筒、用紙、事務用品
	光熱水費	65,254	申請受付会議室電気代
12.	役務費		
	通信運搬費	279,455	郵送料(後納郵便、受取人払)
	手数料	209,520	口座振込手数料
13.	委託料	619,200	臨時福祉給付金システム改修等委託料
14.	使用料及び賃借料	18,053	事務機器リース料
	(事務費小計)	3,859,542	
19.	負担金補助及び交付金	10,239,000	臨時福祉給付金
23.	償還金利子及び割引料	556,000	過年度臨時福祉給付金国庫補助返還金
	合計	14,654,542	

支給決定者数	支給額
3,413人	3,413人×3,000円=10,239,000円

3 事業効果

消費税率引き上げに際し、低所得者の生活の安定に寄与することができた。

年度	28	会計	一般会計			細事業名	児童手当				所属	保健福祉課 福祉係
款	3	項	2	目	2							
目名称	児童措置費					財源内訳					決算書頁	
決算額 (予算額)	362,470 (362,975)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第2章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第1節		子育て支援の充実	

1 事業概要

【対象となる児童】

・15歳に達する日以降の最初の3月31日まで(中学校終了前まで)の児童

【児童手当の支給月額】

- ・0歳から3歳未満(一律) 15,000円
- ・3歳から小学校就学前(第1子・第2子) 10,000円
- ・3歳から小学校就学前(第3子) 15,000円
- ・中学生(一律) 10,000円

【所得制限限度額以上】

・特例給付(一律) 5,000円

※所得制限について

扶養親族の数	限度額
0人	622万円
1人	660万円
2人	698万円
3人	736万円
4人	774万円
5人	812万円

※以降1人増すごと38万円加算

【支給月】

・6月(2,3,4,5月分)、10月(6,7,8,9月分)、2月(10,11,12,1月分)の年3回

2 事業実績

(平成28年度支給内訳)

単位:人、円

受給者	支給対象児童	月額	総支給額	
			延べ人数	支給額
被用者	3歳未満	15,000	3,684	55,260,000
	3歳～中学校終了前	10,000	15,580	155,800,000
		15,000	2,563	38,445,000
非被用者	3歳未満	15,000	1,432	21,480,000
	3歳～中学校終了前	10,000	6,604	66,040,000
		15,000	1,504	22,560,000
特例給付		5,000	577	2,885,000
合計			31,944	362,470,000

(財源負担割合)

支給対象児童	財源負担割合		
	国	県	町
被用者	3歳未満		
	37/45	4/45	4/45
非被用者	3歳～中学校終了前		
	2/3	1/6	1/6
特例給付			

3 事業効果

父母その他の保護者が子育てについての第一義務の責任を有するという基本的認識の下に、児童を養育している父母等に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することができた。

年度	28	会計	一般会計									
款	3	項	2	目	4	細事業名	町立保育園公設民営費				所属	保健福祉課 こども未来係
目名称	児童福祉施設費					財源内訳					決算書頁	
決算額	573,464 (予算額) (577,823)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	84・85	
								210,351	363,113			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章			健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 1 節	子育て支援の充実	

1 事業概要

新たな保育ニーズへの柔軟な対応が可能となる民営化を推進する。

2 事業実績

(年齢区分ごとの年間延人数、年間合計人数)

保育園名	定員	指定管理期間 (5年間)	年齢区分				合計 (年間延べ人員)
			0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児	
有明ふたば保育園	120	H25.4~H30.3	116	511	285	647	1,559
六角保育園	110	H26.4~H31.3	88	341	300	600	1,329
有明みのり保育園	60	H26.4~H31.3	57	208	110	264	639
福田保育園	50	H27.4~H32.3	70	210	120	228	628
福富保育園	190	H27.4~H32.3	124	584	371	988	2,067
有明わかば保育園	50	H27.4~H32.3	70	180	131	331	712

歳出

(単位：円)

保育園名	13. 委託料	19. 負担金、補助及び交付金		
	民営化運営費委託料	延長保育事業	世代間交流事業	障害児保育事業
有明ふたば保育園	116,308,650	0	100,000	1,595,760
六角保育園	95,384,010	600,000	0	930,800
有明みのり保育園	66,395,030	0	100,000	1,196,640
福田保育園	73,823,170	368,800	100,000	398,880
福富保育園	134,862,650	972,540	100,000	1,196,760
有明わかば保育園	77,092,580	1,040,085	100,000	797,760
計	563,866,090	2,981,425	500,000	6,116,600

歳入(その他)

(単位：円)

園名	保育料※	管外受託料
有明ふたば保育園	21,757,290	11,655,790
六角保育園	20,338,800	6,736,550
有明みのり保育園	7,031,420	13,570,920
福田保育園	11,249,180	5,137,730
福富保育園	30,465,960	8,265,480
有明わかば保育園	10,632,960	1,731,390
計	101,475,610	47,097,860

※保育料には、管外保育受託分保育料を含む。

3 事業効果

園児の安心・安全な保育を実施することができる。

歳入(その他)

(単位：円)

基金繰入金	ふるさと基金	
		61,778,000

年度	28	会計	一般会計			細事業名	学童保育事業				所属	保健福祉課 こども未来係	
款	3	項	2	目	6								
目名称		子ども・子育て支援事業費				財源内訳					決算書頁		
決算額		34,945 (予算額) (38,389)				国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
(予算額)										10,782	9,192		6,259
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第2章			健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第1節		子育て支援の充実	

1 事業概要

学校終了後や長期休業等に、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校の就学児童(1年から6年まで)を対象として、学校の余裕教室等を利用した学童保育を実施することにより児童の健全育成を図る。

- ◇ 平日の開設時間 放課後～19:00
- ◇ 土曜日の開設時間 7:40～18:00
- ◇ 長期休業の開設時間 7:40～19:00

区分	負担金の額(児童一人につき)	減免の場合	減免率
継続参加	月額2,000円(土曜参加は月額3,000円)	・ひとり親家庭の場合	1/2
	夏季休業日4,000円(土曜参加は5,000円)	・生活保護法による被保護世帯である場合	10/10
一時参加	夏季休業日5,000円(土曜参加は6,000円)	・被災世帯である場合	10/10
	冬季休業日2,000円	・その他特別な事由があると認められた場合	10/10
	学年末休業日から学年始めの休業日2,000円	・同一世帯から2人以上の児童が参加する場合の2人目からの児童	1/2

2 事業実績

(単位:人)

クラブ別 (学校別)	H26年度		H27年度		H28年度	
	児童数	指導員数	児童数	指導員数	児童数	指導員数
須古小	11	2	25	3	29	4
六角小	27	3	25	3	35	3
白石小	36	5	42	6	48	6
北明小	23	3	27	3	26	2
福富小	45	5	59	7	63	7
有明東小	36	4	31	4	26	4
有明西小	17	2	25	3	30	3
有明南小	16	3	16	3	16	2
計	211	27	250	32	273	31

(事業費明細)

(単位:円)

節名	決算額	備考(主な内容)
7.賃金	30,779,088	指導員賃金
9.旅費	0	普通旅費
11.需要費	2,040,191	消耗品、燃料費、光熱水費、修繕料
12.役務費	314,002	携帯電話利用料、浄化槽法定検査料他
13.委託料	109,276	消防設備保守点検委託料
18.備品購入費	595,728	学童保育室用テーブル、収納棚等
23.償還金利子及び割引料	1,107,000	過年度放課後子どもプラン推進事業費補助金返還金
計	34,945,285	

※人数は、4月1日現在で学校の開設日の数。土曜日は、合同開設で実施(六角学童クラブ)。
財源内訳(その他:放課後児童クラブ負担金)

3 事業効果

学校開設時は小学校単位に学童保育所を開設し、また長期休業時及び土曜日(合同開設)を実施することにより、利用者の利便を図ることができる。
学校代休日も開設し、保護者が安心して働くことができる環境が図られ、児童の健全育成など、仕事と子育ての両立支援が推進できる。

年度	28	会計	一般会計									
款	3	項	2	目	6	細事業名	地域子育て支援事業				所属	保健福祉課 こども未来係
目名称	子ども・子育て支援事業費					財源内訳					決算書頁	
決算額	14,184 (予算額) (16,318)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	86	
						4,816	4,493			4,875		
白石町総合計画 人と大地がうるおい輝く豊穡のまち			基本構想 第 2 章			健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 1 節		子育て支援の充実	

1 事業概要

- ◆白石町交流館内「ゆめてらす」において、地域子育て支援事業を白石町社会福祉協議会が実施する。
 - ・地域子育て支援拠点事業「ゆめひろば」……常設のひろばを開設し、乳幼児とその保護者の相互交流を図る場を提供する。
実施時間 月曜日～金曜日、毎月第2土曜日 午前9時～午後5時まで
利用料 無料
 - ・一時預かり事業「ひよこぐみ」(一般型)……一時的に家庭での保育が困難な場合にお子さんを預かる。
実施時間 月曜日～金曜日、毎月第2土曜日 午前9時～午後5時まで
利用料 町内のお子さん 1時間 300円、町外のお子さん 1時間 600円
- ◆有明ふたば保育園、有明わかば保育園、認定こども園ありあけ幼稚園で一時預かり事業(余裕活用型、幼稚園型)を実施する。
 - ・余裕活用型は、有明ふたば保育園、有明わかば保育園で実施し、実施場所の定員の範囲内において一時的な保育を行う。
 - ・幼稚園型は、認定こども園ありあけ幼稚園等で実施し、在園児(教育標準時間の子ども)と在園児以外の子どもの一時的な保育を行う。
利用料は各園の規定による。(余裕活用型⇒1日利用:2,000円、半日利用:1,000円 幼稚園型⇒(例)平日預かりAコース 100円/時間ほか)

2 事業実績

ゆめてらす利用者数 (単位:人)

	【ゆめひろば】		【ひよこぐみ】	
	子ども	大人	町内	町外
H23	3,732	2,915	730	98
H24	3,978	3,111	934	75
H25	3,915	3,044	1,104	38
H26	4,230	3,396	722	40
H27	3,052	2,420	518	12
H28	2,736	2,106	681	15

保育園、幼稚園利用者数 (単位:人)

園名	有明ふたば	有明わかば	ありあけ幼稚園
利用者数	304	152	2,514

歳出 (単位:円)

節	決算額
19.負担金、補助及び交付金	13,481,000
23.償還金利子及び割引料	703,000

3 事業効果

「ゆめひろば」では、乳幼児と保護者が一緒に遊んだり、子育ての悩みを気軽に相談したり、お互いの情報を交換したりと自由に交流できる。また、「ひよこぐみ」、「保育園」、「幼稚園」での一時預かりは、家庭での保育が難しい場合に、乳幼児をお預かりすることにより、子育て世帯を支援することができる。このことにより、子育ての不安感の緩和が図られ、子どもの健やかな育ちのを促進することができた。

年度	28	会計	一般会計									
款	4	項	1	目	1	細事業名	不妊治療支援事業費			所属	保健福祉課 健康づくり係	
目名称	保健衛生総務費					財源内訳						
決算額	2,322 (予算額) (3,400)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁	
								2,322	0	89		

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 3 節	保健・医療体制の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	------------

1 事業概要

不妊に悩む夫婦に対して、医療保険が適用されず高額な費用がかかる不妊治療に要した費用の一部を助成することにより、経済的負担を軽減する。

2 事業実績

- ・助成方法 償還払い方式
- ・助成対象者 佐賀県不妊治療支援事業の対象者であり、夫婦のいずれかが町内に住民登録し、引き続き1年以上居住していること。
- ・助成対象とする不妊治療費 佐賀県不妊治療指定医療機関で実施された、戸籍上の夫婦間で行う健康保険が適用されない不妊治療費
(平成28年度から人工授精、男性不妊治療も助成対象)
- ・助成額 医療機関で支払った不妊治療費から佐賀県不妊治療支援事業助成金額等を差し引いた額の1/2以内

節	細節	実績額(円)	備 考
負担金補助及び交付金	不妊治療支援事業補助金	2,321,587	不妊治療支援事業補助金 申請20件(実人数14人)

※ふるさと基金 2,322千円充当

平成22～27年度事業実績

年度	申請数	実人数	町助成額(円)	出生数(参考)
22年度	10	7	991,860	2
23年度	18	13	1,704,265	4
24年度	22	13	1,670,385	4
25年度	16	11	1,450,846	4
26年度	13	9	968,577	2
27年度	28	17	3,148,357	5

3 事業効果

不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、不妊治療を行う夫婦の経済的負担が軽減され、安心して子どもが産み育てられる環境を作ることができた。

年度	28	会計	一般会計			細事業名	予防接種事業費					所属	保健福祉課 健康づくり係
款	4	項	1	目	2								
目名称		予防費				財源内訳					決算書頁		
決算額 (予算額)		59,728 (64,536)				国庫	県費	地方債	その他	一般財源			90
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)						基本構想 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】					基本計画 第3節	保健・医療体制の充実

1 事業概要

感染症の発生及びまん延予防のため予防接種を実施する。

2 事業実績

接種区分	予防接種名	実施者数	対象者(接種回数)
個別接種	2種混合(ジフテリア・破傷風)	実 179人	11歳以上13歳未満の者(1回)
	不活化ポリオ	延 17人	生後3～90月に至るまでの間にある者(4回)
	麻しん・風しん(MR)	実 370人	I期:生後12～24歳未満の者(1回) II期:5歳以上就学前まで(1回)
	BCG	実 164人	生後1歳に至るまでの間にある者(1回)
	日本脳炎	延 855人	I期:生後6～90月(3回) II期:9歳以上13歳未満(1回) 特例対象者
	Hib(ヒブ)	延 624人	生後2～60月に至るまでの間にある者(4回)
	小児用肺炎球菌	延 628人	〃
	4種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	延 629人	生後3～90月に至るまでの間にある者(4回)
	水痘	延 319人	生後12～36月に至るまでの間にある者(2回)
	B型肝炎	延 193人	1歳に至るまでの間にある者(3回)
	高齢者インフルエンザ	実 4,898人	65歳以上の者(毎年度1回) 60歳以上65歳未満で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害を有する者(毎年度1回)
	高齢者肺炎球菌	実 892人	平成28年4月1日～平成29年3月31日の間に65、70、75、80、85、90、95歳又は100歳となる者(1回) 60歳以上65歳未満で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害を有する者(1回)

予防接種助成事業(定期外)

子どもインフルエンザ予防接種:0～12歳までの者1回目1,000円2回目1,000円、13歳以上の中学生2,000円助成(実施者数:延2,455人)

妊婦の風しん感染リスクを下げるため、妊娠を予定する者と妊婦の同居者に風しん予防接種費用1人1回全額助成(実施者数:32人)

節	細節	実績額	備考
11.需用費	消耗品費	123,295円	予診票印刷用紙、周知用冊子他
12.役務費	通信運搬費	240,000円	郵送料
	手数料	1,025,592円	予防接種審査支払手数料
13.委託料	その他委託料	58,108,769円	予防接種委託料
20.扶助費	扶助費	230,107円	区域外での接種分(償還払い)
計		59,727,763円	

財源内訳
佐賀県妊娠安心風しん予防接種事業補助金
168,000円(県1/2補助)
(平成28年度まで)

3 事業効果

予防接種を実施することで、接種者の発病や重症化を防止するとともに、感染症の発生及びまん延を予防することができた。

単位:千円

年度	28	会計	一般会計			細事業名	成人検診事業費				所属	保健福祉課 健康づくり係	
款	4	項	1	目	2		財源内訳						
目名称		予防費									決算書頁		
決算額		19,126				国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
(予算額)		(19,695)				73	475		2,962	15,616	90		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穰のまち)					基本構想 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第3節	保健・医療体制の充実		

1 事業概要

疾病の早期発見、早期治療につなげるため、各種検診(がん検診、結核検診、肝炎ウイルス検診)を実施する。

2 事業実績

検診項目	受診者数	対象者	実施方法
①肺がん検診	1,546人	40歳以上	集団検診
②胃がん検診	864人	40歳以上	集団検診
③大腸がん検診	1,346人	40歳以上	集団検診
④乳がん検診	663人	40歳以上の女性(2年に1回受診)	集団検診・個別検診
⑤子宮頸がん検診	695人	20歳以上の女性(2年に1回受診)	集団検診・個別検診
⑥前立腺がん検診	592人	40歳以上の男性	集団検診
⑦結核検診	815人	65歳以上	集団検診
⑧肝炎ウイルス検診	146人	30歳以上の未受診者	集団検診

平成28年度集団検診実施日数等

	実施日数	実施場所
7月	3日間	福富ゆうあい館
	3日間	総合センター
	4日間	ふれあい郷自有館
9月	2日間	健康センター(特定健診のみ)
10月	3日間	総合センター
12月	2日間	総合センター

■クーポン券等無料検診対象者

胃、肺、大腸がん検診 50歳、55歳、60歳の節目年齢者
 乳がん検診 41歳の女性
 子宮頸がん検診 21歳の女性

■レディースデー検診 (H29.2.7実施)

子宮頸がん検診 20歳以上の女性 (予約なし)
 乳がん検診 40歳以上の女性 (予約制、先着定員55人)
 骨粗鬆症検診 40歳以上の女性 (予約なし)

節	細節	実績額	備考
7.賃金	日々雇用職員賃金	280,200円	保健師、看護師等臨時雇用賃金
11.需用費	消耗品費	173,363円	通知等用紙代他
	燃料費	0円	がん検診時灯油代
	印刷製本費	85,104円	受診票等印刷代
12.役務費	通信運搬費	1,040,001円	検診通知郵送料
13.委託料	その他委託料	17,504,514円	各種がん検診委託料
14.使用料及び賃借料	その他使用料	43,180円	自有館空調使用料
計		19,126,362円	

財源内訳

新たなステージに入ったがん検診総合支援事業
 73,000円
 佐賀県がん検診受診率向上事業費補助金
 58,000円
 佐賀県健康増進事業費補助金
 417,000円
 がん検診個人負担金
 2,962,700円

3 事業効果

町民が自らの健康状態を知り、疾病の早期発見、早期治療につなげることができた。

年度	28	会計	一般会計										
款	3	項	1	目	2	細事業名	障害者自立支援給付費				所属	長寿社会課 障がい福祉係	
目名称		障害者福祉費				財源内訳					決算書頁		
決算額		509,229				国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
(予算額)		(516,256)				255,000	127,500			126,729	73~76		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節		地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実		
1 事業概要													
障害者及び障害児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービス(介護給付・訓練等給付)を給付する。													
2 事業実績													
11	需用費	消耗品費	精神障害者デイケア(のびのび会)		手芸用品代・実習材料費、事務用品			94,103円					
13	委託料	その他委託料	支援費給付事務委託料		、システム改修委託料			877,363円					
20	扶助費(自立支援給付費)	補助率	国庫	1/2	県費	1/4							
◎	介護給付費 小計	2,051人	277,125,387円 A		◎ 訓練等給付費 小計	1,557人	193,463,117円 B						
	・居宅介護支援	314人	19,010,608円		・共同生活援助	400人	47,386,262円						
	・行動援護	35人	1,568,046円		・自立訓練(生活訓練)	4人	569,287円						
	・生活介護支援	797人	144,569,989円		・宿泊型自立訓練	3人	361,960円						
	・短期入所	120人	4,531,382円		・就労移行支援	92人	12,405,976円						
	・施設入所支援	568人	51,393,662円		・就労継続支援A型	193人	22,566,984円						
	・療養介護(福祉)	217人	56,051,700円		・就労継続支援B型	865人	110,172,648円						
					◎ 相談支援事業								
					・計画相談支援給付費	367人	6,101,941円 C						
					◎ 特定障害者特別給付費								
					・補足給付費等	923人	11,367,475円 D						
					計	488,057,920円 (A+B+C+D)							
23	償還金利子及び割引料	前年度国庫負担金返還金				12,816,574円							
		前年度県費負担金返還金				6,408,287円							
14	使用料及び賃借料	支援費ソフトリース料				974,592円							
3 事業効果											決算額	509,228,839円	
障害者(児)に必要な支援を実施することにより、自立した日常生活又は社会生活を営むことができた。													

単位:千円

年度	28	会計	一般会計								
款	3	項	1	目	2	細事業名	重度心身障害者医療給付費			所属	長寿社会課 障がい福祉係
目名称	障害者福祉費					財源内訳					決算書頁
決算額	51,152 (予算額) (54,030)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	73・75
							25,308			25,844	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実	

1 事業概要

重度の身体障害又は知的障害を有する者について、医療費の一部を助成することにより、これらの者の保健の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする。

2 事業実績

11 需用費 消耗品費 事務用品 27,724 円

20 扶助費(重度心身障害者医療費助成事業補助率 県費 1/2) 51,123,849 円

重度心身障害者医療費助成明細
受給者 572人

区分	助成件数	支弁額
入院	1,024 件	22,595,986 円
入院外	10,961 件	28,527,863 円
計	11,985 件	51,123,849 円

決算額 51,151,573 円

3 事業効果

重度障害者の保健の向上及び福祉の増進に寄与できた。

年度	28	会計	一般会計										
款	3	項	1	目	3	細事業名	敬老の日記念事業				所属	長寿社会課 高齢者係	
目名称	老人福祉費					財源内訳					決算書頁		
決算額	20,065 (予算額) (20,215)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	77~80		
								14,000		6,065			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第2章			健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第2節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実		

1 事業概要

多年にわたり社会の進展に寄与された高齢者に対し長寿祝金・敬老記念品を贈呈し長寿を祝福すると共に、高齢者の長寿を地域でお祝いすることで、高齢社会について理解と関心を深める。

2 事業実績

節	細節	決算額	備考
8.報償費	記念品代	1,324,000	敬老記念品 [最高齢5,000円×2名 喜寿3,000円×230名 米寿3,000円×192名 白寿3,000円×16名]
11.需用費	消耗品費	56,782	高齢者訪問用消耗品、封筒、花束
12.役務費	通信運搬費	311,991	敬老記念品送付簡易書留料、長寿祝金通知後納郵便料
19.負担金補助及び交付金	補助金	5,676,861	地域敬老事業助成金 [88団体 (75歳以上人数4,739人×1,200円)-9,939円(返還金)=5,676,861円]
20.扶助費	扶助費	12,695,000	長寿祝金 [80歳10,000円×299人 85歳15,000円×233人 90歳20,000円×160人 95歳30,000円×57人 100歳以上50,000円×26人]
	計	20,064,634	

敬老会出席状況

年度	対象者数	出席率		
17年度	4,146 人	28.6%	町主催敬老会	
18年度	4,255 人	中止		
19年度	4,338 人	16.1%		
20年度	4,425 人	16.4%		
21年度	4,480 人	13.3%		
22年度	4,580 人	54.0%	地域敬老会	実施団体数 82団体
23年度	4,685 人	55.7%		実施団体数 87団体
24年度	4,706 人	55.0%		実施団体数 87団体
25年度	4,688 人	54.9%		実施団体数 87団体
26年度	4,677 人	56.0%		実施団体数 87団体
27年度	4,681 人	54.8%		実施団体数 87団体
28年度	4,739 人	52.2%		実施団体数 88団体

3 事業効果

地域で高齢者の長寿をお祝いすることで、地域の一体感と高齢社会への関心が高まると共に、高齢者の生活意欲の向上効果が見られ、福祉の向上が図られた。

年度	28	会計	一般会計										
款	3	項	1	目	3	細事業名	介護予防事業				所属	長寿社会課 高齢者係	
目名称	老人福祉費					財源内訳					決算書頁		
決算額	11,152					国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
(予算額)	(13,083)								11,152	0	77~79		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第2章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】					基本計画 第2節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実		

1 事業概要

介護予防事業は、二次予防事業と一次予防事業に大きく分かれています。二次予防事業は、要介護状態等になるおそれの高い高齢者(二次予防事業の対象者)に対して介護予防を積極的に行うことで、一人ひとりの生きがいや自己実現の取組を支援することを目的としている。また、一次予防事業は、介護予防のための自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら介護予防に向けた取組が主体的に実施されるように活動の育成・支援をしていく。

2 事業実績

	予算額	事業費	主内容	備考
1 二次予防事業				
1. 二次予防事業の対象者把握事業	242,000	188,791	・基本チェックリスト入力及び集計	
2. 通所型介護予防事業	6,940,000	6,169,953	・複合型プログラム教室(シルバー教室2コース・みのり教室1コース・水中らくらく教室3コース・しゃきっと教室3コース)計9コース延204回 参加実人員178人 ・口腔機能向上プログラム6回 参加実人員3人	町内介護施設、町内医療機関等へ委託
3. 訪問型介護予防事業	50,000	18,932	保健師の訪問実施(うつ・閉じこもり・認知症: 33人)	
2 一次予防事業				
1. 介護予防普及啓発事業	5,451,000	4,652,196	・運動教室(水中運動教室3コース・健康アップ教室1教室)計4教室 延51回 参加延人員 565人 ・老人クラブ健康づくり事業 ・音楽療育サロン3コース及び単発事業6回 延人数368人 ・自主健康体操サロンへの支援13サロン ・一般高齢者の健康教育21回 延人数550人	白石町文化振興財団、白石町老人クラブ連合会等へ一部委託
2. 地域介護予防活動支援事業	400,000	121,964	・新規ボランティア養成講座 3回 参加実人員 11人 ・ボランティアフォローアップ研修5回 参加実人員41人	
合計	13,083,000	11,151,836		

3 事業効果

介護予防に関する知識の普及啓発とともに、継続した運動の必要性を体感され、自主的な取り組みにつながるなど、介護予防意識に変化が見られる。

年度	28	会計	一般会計									
款	3	項	1	目	3	細事業名	生活支援体制整備事業				所属	長寿社会課 高齢者係
目名称	老人福祉費					財源内訳					決算書頁	
決算額	3,164					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	(5,580)								3,164	0	77・78	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第2章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第2節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実	

1 事業概要

平成27年度の介護保険制度改正に伴い、杵藤介護保険事務所管内が平成29年からの新しい介護予防・日常生活総合事業に移行するための事前整備。一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、認知症高齢者等さまざまな高齢者が生きがいを持ちながら生活継続するための生活支援・介護予防の基盤整備に向けた取り組み。生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等により、担い手やサービスの開発を行い、高齢者の社会参加及び生活支援・介護予防の充実を推進する。

2 事業実績

節	細節	決算額	備 考
8.報償費	報償費	120,000	生活支援体制整備第1層協議体連絡会報償費
11.需要費	消耗品費	39,812	事務用品
13.委託料	委託料	3,004,453	白石町生活支援体制整備事業に係る委託契約(生活支援コーディネーター設置等委託)
計		3,164,265	

【委託業務名】平成28年度白石町生活支援体制整備事業に係る委託契約

【委託者】社会福祉法人 白石町社会福祉協議会

【委託期間】平成28年7月1日～平成29年3月31日

3 事業効果

生活支援コーディネーターを社会福祉協議会へ2名配置し、新たなサービスの開発やボランティアの担い手育成を行うことにより高齢者の社会参加および生活支援・介護予防の充実を推進する体制の構築が図られた。

年度	28	会計	一般会計								
款	3	項	1	目	3	細事業名	在宅医療・介護連携推進事業			所属	長寿社会課 高齢者係
目名称	老人福祉費					財源内訳					
決算額	777					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	(995)								777	0	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第2章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第2節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実	

1 事業概要

平成27年度介護保険制度の改正により制度化された事業。医療と介護の両方を必要とする状態の在宅高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを、人生最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、居宅に関する医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進する。

2 事業実績

節	細節	決算額	備考
8.報償費	報償費・講師謝金	174,000	代表者会報償費2,000円×延68人=136,000円 講師謝礼12,000円×3人=36,000円 ハネテラ-2,000円×1人=2,000円
9.旅費	講師旅費・研修旅費	64,050	研修会講師旅費、先進地視察研修旅費
11.需要費	消耗品費	59,670	事務用品、研修会用消耗品
13委託料	業務委託	479,520	白石町医療介護事業所一覽作成業務委託
計		777,240	

白石町医療・介護等関係者連絡会代表者会	3回開催 (6/24、10/3、1/31)
白石町医療・介護等関係者代表者会地域リハ作業部会	4回開催 (8/9、9/13、10/14、1/27)
白石町医療・介護等関係者連絡会研修会	8月24日 総合センターホール (参加者132名)
〃	11月18日 総合センターホール (参加者175名)
〃	3月14日 福富ゆうあい館 (参加者115名)
退院時調整作業部会	2回開催 (12/14、1/5)

白石町医療・介護関係者連絡会
医師会
歯科医師会
薬剤師会
介護事業所 居宅事業所
介護事業所 在宅サービス事業所
介護事業所 通所サービス事業所
医療関係者
介護事業従事者
杵藤保健福祉事務所
杵藤地区介護保険事務所
白石町地域包括支援センター

3 事業効果

医療機関と連携体制を構築することで、切れ目のない在宅医療・在宅介護の提供体制が実現できる。

年度	28	会計	一般会計									
款	3	項	1	目	3	細事業名	地域医療介護総合確保事業			所属	長寿社会課 高齢者係	
目名称	老人福祉費					財源内訳						
決算額	28,400 (予算額) (28,400)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 79・80	
(予算額)							28,400					
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第2章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第2節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実		

1 事業概要

地域の実情に応じて、多様な人材の参入の促進、資質の向上、労働環境・処遇の改善の観点から、施設内保育施設の整備に係る経費に対して助成を行うことにより介護人材を確保する。(施設内保育施設)
 地域における医療・介護サービスの充実を図るため、既存の特別養護老人ホーム(定員29人以下)の多床室について、居住環境の質を向上させるために、プライバシー保護のための改修を行う費用を支援する。(既存の特別養護老人ホームのユニット化改修等支援事業)

2 事業実績

- 地域密着型サービス等整備助成事業(施設内保育施設)
施設内保育所 1件

節	細 節	決 算 額	備 考
19.負担金補助金及び交付金	補助金	14,400,000	・施設内保育所(地域密着型サービス等整備助成事業)補助額11,300,000円 ・施設内保育所(介護施設等の施設開設準備経費等支援事業)補助額3,100,000円

- 介護施設等整備費補助金(既存の特別養護老人ホームのユニット化改修等支援事業)

特別養護老人ホーム(定員20名) 1件
 特別養護老人ホーム(定員29人以下)の多床室のプライバシー保護のための改修整備に係る経費を助成する。

節	細 節	決 算 額	備 考
19.負担金補助金及び交付金	補助金	14,000,000	(補助単価)700,000円×(整備床数)20床=14,000,000円

3 事業効果

介護職員が子育てをしながら働き続けることができる環境整備をすることにより、介護人材の確保につながる。
 病床の機能分化及び連携に伴って増加する退院患者に対応しつつ、今後急増する高齢者単身世帯、夫婦のみの世帯、認知症高齢者等が可能な限り住み慣れた地域において継続して、日常生活を営むことが期待できる。

年度	28	会計	一般会計								
款	4	項	2	目	2	細事業名	一般廃棄物収集運搬業務			所属	生活環境課 廃棄物対策係
目名称	塵芥処理費					財源内訳					
決算額	90,150 (予算額) (90,309)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 93
								41,106	49,044		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第5章		自然環境と共生するまち【自然環境の保全】				基本計画 第2節	環境にやさしいまちづくり	

1 事業概要

白石町行政区域全体を6ブロック(A1、A2、B、C、D、Eブロック)に区分して、さが西部クリーンセンターに搬入可能な一般廃棄物の「もえるごみ」、「もえないごみ」、「粗大ごみ」の3品目の収集・運搬の業務委託を行う。

2 事業実績

節	内 容	金 額	業 務 量			収集実績
			収集品目	収集回数	集積所数	
委託料	A1及びB～Dブロックのごみ収集運搬業務委託	60,654,960 円	可燃ごみ	週2回	187ヶ所	2,682.7 t
			不燃ごみ	月1回	187ヶ所	144.6 t
			粗大ごみ	月1回	135ヶ所	51.7 t
	A2ブロックのごみ収集運搬業務委託	12,988,080 円	可燃ごみ	週2回	31ヶ所	527.4 t
			不燃ごみ	月1回	31ヶ所	39.7 t
			粗大ごみ	月1回	31ヶ所	12.1 t
	Eブロックのごみ収集運搬業務委託	16,506,720 円	可燃ごみ	週2回	54ヶ所	775.1 t
			不燃ごみ	月1回	54ヶ所	58.9 t
			粗大ごみ	月1回	10ヶ所	13.1 t
計		90,149,760 円				4,305.3 t

財源内訳その他への充当内容

ごみ処理手数料	40,133,600 円
一般廃棄物処理業の許可申請手数料のうちごみ関係	35,000 円
遠距離搬入補助金	937,675 円
計	41,106,275 円

3 事業効果

安定かつ効率的なごみの収集・運搬に努め、環境美化の推進、ごみ出しのルールの周知により衛生的な生活環境の向上が図れた。

年度	28	会計	一般会計									
款	4	項	2	目	2	細事業名	容器包装廃棄物再商品化事業				所属	生活環境課 廃棄物対策係
目名称	塵芥処理費					財源内訳					決算書頁	
決算額	3,550 (予算額) (3,987)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	93	
										3,550		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 5 章		自然環境と共生するまち【自然環境の保全】				基本計画 第 2 節	環境にやさしいまちづくり		

1 事業概要

町内から収集した容器包装廃棄物を、容器包装リサイクル法の分別基準に基づいて、選別、圧縮・梱包等の分別基準適合化処理を業務委託する。
更に、分別基準適合物についてはリサイクル協会へ再商品化処理を業務委託する。
なお、有価物としての付加価値が高い指定物(牛乳パック、スチール・アルミ缶)については売却処理する。

2 事業実績

節	品目	内 容	処理数量	金 額		備 考
需用費	消耗品	牛乳パック回収用袋		17,496円	17,496円	
委託料	PET	ペットボトル分別基準適合化処理業務委託	32.7t	705,456円	705,456円	分別・圧縮・梱包し、協会引渡し
	カン	缶類分別基準適合化処理業務委託(白石・福富地域)	13.6t	191,069円	359,171円	スチールとアルミに分別・圧縮し、有価物として売却処理
		缶類分別基準適合化処理業務委託(有明地域)	5.1t	168,102円		
	ビン	ガラスびん分別基準適合化処理業務委託	95.2t	2,413,099円	2,467,473円	無色・茶色・その他の色に分別し、協会引渡し
(びん再商品化処理)業務実施契約		89.5t	54,374円			
計				3,549,596円		

3 事業効果

収集した容器包装廃棄物を再資源化・再商品化することで、ごみの最終処分量の減量を図り、資源として有効利用が図れた。

年度	28	会計	一般会計									
款	4	項	2	目	2	細事業名	容器包装廃棄物収集運搬事業			所属	生活環境課 廃棄物対策係	
目名称	塵芥処理費					財源内訳						
決算額	5,941 (予算額) (5,943)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 93	
								2,728	3,213			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 5 章		自然環境と共生するまち【自然環境の保全】				基本計画 第 2 節	環境にやさしいまちづくり		

1 事業概要

白石町行政区域全体を6ブロック(A1、A2、B、C、D、Eブロック)に区分して、分別収集計画の対象品目である資源ごみ(容器包装廃棄物)の収集・運搬の業務委託を行う。

2 事業実績

節	内 容	金 額	業 務 量			収集実績
			収集品目	収集日	集積所数	
委託料	白石有明地域の資源ごみ(PET・カン・ビン)収集運搬業務委託	4,801,888 円	PET	毎月第1水曜日	218 ヶ所	27.8 t
			カン	毎月第2水曜日	218 ヶ所	16.1 t
			ビン	毎月第3水曜日	218 ヶ所	85.2 t
	福富地域の資源ごみ(PET・カン・ビン)収集運搬業務委託	1,138,881 円	PET	毎月第3日曜日	10 ヶ所	4.9 t
			カン			2.6 t
			ビン			10.0 t
計		5,940,769 円				146.6 t

財源内訳その他への充当内容

PETボトル収益市町村分配金	1,196,527 円
再商品合理化拠出金	199,951 円
資源ごみ売却収入のうち資源物収集報償費を差し引いた分	1,331,580 円
計	2,728,058 円

3 事業効果

ペットボトル・カン・ビンのリサイクルに取り組むと共に、安定かつ効率的なごみの収集・運搬に努め、環境美化、ごみ出しのルール周知に努めながら衛生的な生活環境の向上が図れた。

年度	28	会計	一般会計									
款	4	項	4	目	1	細事業名	浄化槽整備推進事業				所属	下水道課 下水管理係
目名称	下水道費					財源内訳					決算書頁	
決算額	39,713 (予算額) (39,775)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	95・96	
						8,579	7,539			23,595		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適なすみよいまち					基本計画 第 1 節	生活基盤の充実	

1 事業概要

公共用水域の水質汚濁の原因に、炊事、洗濯、入浴などの日常生活に伴って排出される生活排水が、大きな原因の一つになっている。家庭において設置される浄化槽の経費の一部を補助し、浄化槽の整備を推進することにより、水質汚濁を防止し、生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与する。

2 事業実績

(単位:千円)

区分	H28年度 実績	左の財源内訳			
		国庫補助金	県補助金	その他	一般財源
負担金補助 及び交付金	20				20
	34				34
	39,659	8,579	7,539		23,541
計	39,713	8,579	7,539	0	23,595

平成28年度浄化槽設置整備事業補助金の内訳 (単位:千円)

区分	国基準額	町上乗額	計	実績基数	補助金額実績
5人槽	332	268	600	17	10,200
7人槽	414	306	720	41	29,459
10人槽	548	372	920		0
11~20人槽	939	0	939		0
21~30人槽	1,472	0	1,472		0
31~50人槽	2,037	0	2,037		0
計				58	39,659

(単位:基)

区分	平成27年度 までの基数	平成28年度 の実績基数	平成28年度末 基数
5人槽	207	17	224
7人槽	1,212	41	1,253
10人槽	382		382
11~20人槽	17		17
21~30人槽	17		17
31~50人槽	9		9
計	1,844	58	1,902

3 事業効果

浄化槽設置を促進し、公共用水域の水質汚濁防止を図った。

年度	28	会計	一般会計									
款	4	項	4	目	1	細事業名	公共下水道接続促進事業				所属	下水道課 下水管理係
目名称	下水道費					財源内訳					決算書頁	
決算額	2,899 (予算額) (4,158)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	96	
									2,899			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適なすみよいまち				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 事業概要

特定環境保全公共下水道及び農業集落排水施設の供用開始後3年以内に行う受益者の排水設備工事に助成することにより、接続率の向上を図り、生活環境の改善、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全の早期実現を可能とする。また、下水道経営安定化を早期に目指す。

助成条件

- 家庭からの生活排水を下水道等に流入させるための宅地内排水管や汚水枘などの排水設備工事を対象
対象住宅: 自ら所有し居住する住宅(新築住宅を除く)
対象工事: 白石町下水道排水設備指定工事店による施工の工事

助成額

- 補助率 10% 上限額 供用開始後 1年目10万円、2年目7.5万円、3年目5万円

2 事業実績

区分	H28年度
補助金額	2,899千円
申請件数	55件

3 事業効果

下水道等の目的が早期に達成でき、設置した施設の遊休化が避けられ、維持管理を含む経営の安定化を図った。

単位：千円

年度	28	会計	一般会計			細事業名	しろいし農業塾(繰越明許)	所属	農業振興課 振興係		
款	2	項	1	目	8						
目名称		地域づくり推進費				財源内訳					
決算額		8,892				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)		(11,750)								8,892	56

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第1節	農林水産業の振興
-------------------------------	-------------	----------------------	-------------	----------

1 事業概要

県外の地域から生活の拠点を移した者を農業研修生として農業団体等で受け入れ、農業研修生として支援を受けながら農業関係の研修に取り組み、農業による自立と地域への定着を図る。研修生を補佐するために受入れ農家と行政・JAなど関係団体が連携して取り組み、研修等に必要な経費の助成と指導・助言を行う。

- ・ 研修生4名：20歳以上40歳未満の心身ともに健康で、白石町に住民票を移動でき、研修後は町内で農業経営をし、白石町における地域農業の担い手として農業を営む志のある人
- ・ 指導員2名：町内在住で研修生への指導・助言等が出来る人
- ・ 研修期間：平成27年10月1日～平成29年3月31日の1年半。

2 事業実績

19節 負担金補助及び交付金
しろいし農業塾補助金 20,642,043円 (平成27年度11,750,000円、平成28年度繰越分8,892,043円)

項目	金額	項目	金額	項目	金額
労災保険料	147,770	研修生募集イベント旅費	235,180	健康診断受診料	29,100
雇用保険料	123,157	チラシ・ポスター等印刷費	76,408	住宅敷金・保険・仲介料	345,200
健康保険料	1,109,894	指導員・研修生ガソリン代	372,864	住宅家賃	2,274,000
厚生年金保険料	1,871,840	事務用消耗品等	45,114	車両リース料	1,827,360
児童手当拠出金	20,030	研修生募集広告料	1,522,800	事務室借上げ料	129,600
指導員2名賃金	2,868,940	傷害共済保険料	64,000	研修生募集イベント出展料	86,400
研修生4名賃金	6,575,106	車両任意共済保険料	258,960	住宅家賃敷金等清算金	△ 109,170
受入れ農家謝金	696,000	振込手数料	71,928	預金利子	△ 438
				歳出合計	20,642,043

3 事業効果

農業の担い手及び定住者の確保により、白石町農業の後継者不足の解消と定住人口の増加につながる。
(研修生の家族を含め、現状10名の人口増)

年度	28	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	2	細事業名	新規就農・経営継承総合支援事業			所属	農業振興課 振興係	
目名称		農業総務費				財源内訳					決算書頁	
決算額		21,016				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		(21,020)					21,000			16	99	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	--	---------------	----------------------	---------------	----------

1 事業概要

持続的で力強い農業構造を実現するためには、今後、基幹的に農業に従事する青年層の新規就農者を倍増させる必要があるため、国庫事業である新規就農総合支援事業を推進する。

○ 青年就農給付金(経営開始型)

①人・農地プランに位置づけられている、原則45歳未満の独立・自営就農者(単なる親元就農は対象外)が対象となる。

②給付金額については、

- ・平成27年度までに申請した者(既給付者)は、年間150万円を給付する。ただし、前年の所得が250万円以上ある場合は給付しない。
- ・平成28年度に申請した者(新規就農者)は、前年の所得により給付金の額が変動する。ただし、前年の所得が350万円以上ある場合は給付しない。

2 事業実績

11節 需用費 事務用消耗品 16,359円

19節 負担金補助及び交付金 青年就農給付金(経営開始型) 21,000,000円

・既給付者分(平成24年度～27年度新規就農者)

平成28年度1回給付対象者 2人 × 750,000円 = 1,500,000円

平成28年度2回給付対象者 6人 × 1,500,000円 = 9,000,000円

平成28年度2回給付対象者 2人(夫婦) × 1,125,000円 = 2,250,000円

・新規就農者分

4人 × 1,500,000円(H28.9月までの認定者:H27補正) = 6,000,000円

1人 × 1,500,000円(H28.10月以降の認定者:H28当初) = 1,500,000円

1人 × 750,000円(H28.10月以降の認定者(半年分):H28当初) = 750,000円

3 事業効果

今後の担い手となる、若手の新規就農者を確保することにより、本町の力強い農業構造の確立を図ることができる。

単位：千円

年度	28	会計	一般会計										
款	6	項	1	目	3	細事業名	施設園芸等被害対策事業(繰越明許)				所属	農業振興課 振興係	
目名称		農業振興費				財源内訳							
決算額		3,520				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁		
(予算額)		(4,229)					2,797			723	101		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第3章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第1節		農林水産業の振興			

1 事業概要

28年1月下旬の降雪により、町内の園芸施設(ハウス)に倒壊するなどの被害があったため、被災したハウスの撤去と再建に要する費用を補助することにより、営農活動の早期再開と農家負担の軽減を図る。

- 実施主体 農業者、農業者が組織する団体
- 実施概要 ①被災した園芸施設(ビニールハウス)等の撤去への補助
②園芸施設(ビニールハウス)等の再建への補助
- 補助率 ①撤去への補助: 県1/2、町1/2
②再建への補助: 県1/2、町1/10、事業実施主体4/10

2 事業実績

19節 負担金、補助及び交付金 施設園芸等被害対策事業補助金 3,520,000円

区分	農家数	事業量	総事業費	補助対象事業費	負担区分			備考
					県費補助金	市町費	その他	
(1)被災ハウス撤去	5	1,718	405,798	405,798	201,000	201,000	3,798	アスパラ、イチゴ
(2)被災ハウス再建	5	1,793	5,911,804	5,196,412	2,596,000	522,000	2,078,412	〃
計			6,317,602	5,602,210	2,797,000	723,000	2,082,210	

3 事業効果

園芸施設を早期に復旧することができ、被害を受けた農業者の経営の安定化を図った。

年度	28	会計	一般会計										
款	6	項	1	目	3	細事業名	さが園芸農業者育成対策事業費				所属	農業振興課 振興係	
目名称		農業振興費				財源内訳					決算書頁		
決算額		58,361				国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
(予算額)		(62,278)					47,091			11,270	103		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興			

1 事業概要

近年の園芸農業を取り巻く情勢は、高齢化の進行による農業従事者数の減少、生産物価格の低迷、更には燃油を始めとした生産資材価格の高騰など厳しさを増している。このような中、本町の園芸農業が持続的に発展していくためには、収益性の高い園芸農業に向けた取り組みを強化していく必要がある。

このため、革新的技術の導入による収量・品質の向上や省エネ・省力化技術の普及などを進めるとともに、新規就農者等を育成することにより、儲かる園芸農業を確立する。

○実施期間 平成26年度～30年度(5年間)

○補助率 原則 県1/3以内、町1/10以上

○実施主体 2戸以上の農業者が組織する団体、新規就農者等

※新規就農者等の取組や革新的技術の導入の取組(県1/2以内、町1/10以上)

※脱石油・省石油対応ハウス、猛暑対応ハウス等の取組(県4/10以内、町1/10以上) 他

2 事業実績

19. 負担金補助及び交付金

区分	事業内容	品目名	受益戸数 (戸)	受益面積 (a)	事業量	総事業費 (千円)	財源内訳		
							県費	町費	事業主体
施設 園芸	パイプハウス	いちご、アスパラガス	3	49	4,950㎡	38,419	18,041	3,844	16,534
	園芸ハウスの長寿命化対策	いちご	2	39	3,997㎡	3,447	1,345	345	1,757
	高設栽培	いちご	1	10	1,008㎡	6,597	3,298	660	2,639
	保冷装置	アスパラガス、小ネギ	2	36	2台	1,344	558	135	651
露地 園芸	収穫機	たまねぎ	23	3,355	11台	15,904	5,752	1,577	8,575
	乗用管理機	たまねぎ	3	1,200	2台	6,716	2,891	672	3,153
	定植機、播種機	たまねぎ	5	3,890	4台	14,395	4,655	1,398	8,342
	除湿乾燥システム(ハウス含む)	たまねぎ	4	594	385㎡	12,286	4,095	1,229	6,962
	野菜運搬車	たまねぎ	2	100	1台	1,080	360	108	612
	収穫機	れんこん	6	830	4台	10,412	4,708	1,023	4,681
	定植機	レタス	1	250	1台	1,511	755	152	604
自動包装機	レタス	1	150	1台	1,267	633	127	507	
合計(事業主体数 30)			53	10,503	-	113,378	47,091	11,270	55,017

3 事業効果

本町の農業生産所得は、園芸作物に大きく左右されることから、本事業を推進することにより、しろいし農業の発展に寄与することができた。

単位：千円

年度	28	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	3	細事業名	玉葱生産安定対策事業				所属	農業振興課 振興係
目名称	農業振興費					財源内訳					決算書頁	
決算額	17,524 (予算額) (23,914)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	100・101	
							12,542			4,982		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 事業概要

ここ数年、町内を中心に発生が多く問題となっている玉葱べと病の総合的な防除対策を早急に確立し、地域と関係機関が一体となって、被害の軽減対策に取り組む。

- ◇経営継続のための借入資金の利子補給補助の実施
最低利息の0.1%を助成
- ◇越年罹病株の抜き取りの普及徹底及び処分
白石町野菜病害虫防除推進協議会が実施する越年罹病株抜き取りに係る焼却・収集運搬費助成(県1/2補助)
- ◇べと病対策一斉防除用薬剤の購入に係る助成措置
一般防除用のマンゼブ剤(ジマンダイセン)購入に係る助成(県1/2、町1/10補助)

2 事業実績

11節 需用費 事務用消耗品 13,769円
 12節 役務費 利子補給事務手数料 137,274円
 14節 使用料及び賃借料 罹病株処分車両借上料 101,805円
 19節 負担金補助及び交付金
 白石町野菜病害虫防除推進協議会負担金(罹病株処分経費) 1,973,045円
 べと病対策借入資金利子補給金 87,405円
 一斉防除用薬剤購入補助金 15,210,640円

3 事業効果

玉葱の主力産地である責任と白石ブランドの信頼確立に向けて、29年産玉葱の作付において生産意欲の向上、安定生産を実現し、所得の安定を図った。

年度	28	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	3	細事業名	産地競争力強化事業(強い農業づくり交付金)				所属	農業振興課 振興係
目名称	農業振興費					財源内訳					決算書頁	
決算額	124,940 (予算額) (124,961)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	100・101	
(予算額)							117,431			7,509		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章			活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興	

1 事業概要

本町は、園芸作物が非常に盛んであり、きゅうりにおいてもハウスによる周年栽培が行われている。しかしながら、近年は高齢化や後継者不足、資材価格の高騰等により、作付面積が伸び悩んでいる。本事業によってきめ細かな管理ができる低コスト耐候性ハウスを導入することにより、収量及び販売額の増加を図る。

低コスト耐候性ハウスの整備
 ○事業実施主体 任意組合 1件
 ○交付率 国 1/2以内 県1/5以内(上限30,000千円) 町1/20以上(上限7,500千円)

2 事業実績

11節 需用費 事務用書籍 9,008円
 19節 負担金補助及び交付金
 産地競争力強化事業交付金 124,931,000円

事業内容	受益地区	生産量	受益戸数 (戸)	受益面積 (㎡)	事業量	総事業費	財源内訳			実施予定箇所
							国交付金	県費	町費	
低コスト耐候性ハウス	白石町内	185t/年	3	7,113	7,113㎡	174,863	87,431	30,000	7,500	白石町内3か所

3 事業効果

きめ細かな管理によって安定的な出荷を実現し、産地の競争力を向上させることにより、農業経営の安定に資することができる。

単位:千円

年度	28	会計	一般会計			細事業名	さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業	所属	農業振興課 農政係	
款	6	項	1	目	5					
目名称		米政策対策費				財源内訳				
決算額		6,242 (予算額) (6,242)				国庫	県費	地方債	その他	一般財源
(予算額)										
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第3章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第1節	農林水産業の振興	

1 事業概要

水田農業の担い手である集落営農組織等の経営安定と競争力のある売れる米・麦・大豆づくりの実現を図るため、低コストで効率的な経営が可能となる施設・機械の導入に対し、助成を行う。

2 事業実績

施設・機械導入実績

事業主体	事業内容	事業量	能力等	参 考	事 業 費			
				標準事業費	県 費	町 費	実施主体	計
集落営農組合	乗用管理機	1台	散布幅15.9m	4,042	1,347	405	2,568	4,320
集落営農組合	大豆不耕起播種機	1台	2条播き	694	231	70	542	843
	トラクターカルチ	1台	2連式	714	238	72	463	773
農事組合法人	乗用管理機	1台	散布幅15.9m キャビン仕様	5,233	1,736	521	3,370	5,627
農事組合法人	乗用管理機	1台	散布幅15.9m キャビンなし	3,743	1,247	375	2,926	4,548
					4,799	1,443	9,869	16,111

区 分	決 算 額	説 明
19. 負担金、補助及び交付金	6,242	機械導入補助

補助率:県費1/3、町費1/10(ただし、機械・施設によって標準事業費が設定されており、標準事業費に対する補助となる。)

3 事業効果

機械の大型化、共有化による農作業の省力化、低コスト化が可能となり、集落営農組織等の育成を図ることができた。

年度	28	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	5	細事業名	直接支払推進事業費				所属	農業振興課 農政係
目名称	米政策対策費					財源内訳					決算書頁	
決算額	9,587 (予算額) (9,587)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	102	
							8,536			1,051		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章			活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興	

1 事業概要

農業再生協議会を中心に、経営所得安定対策等の推進及びこれを円滑に実施するための行政と農業者団体等の連携体制の構築、戦略作物の生産振興や地域農業の振興を図るとともに、耕作放棄地の再生利用、担い手の育成・確保等の取り組みを促進する。

2 事業実績

・白石町農業再生協議会が行う事業に対する補助金
 経営所得安定対策の普及・推進活動、生産数量目標の設定、申請書類の配布・回収、対象作付面積等の確認
 農業者の水田情報等のシステム入力、農地集積・規模拡大、集落営農組織の法人化推進、協議会の運営
 再生協議会の事業内容

区 分	金 額(千円)	説 明
委員報償	389	協議会等委員報償費
旅費	3	監事費用弁償
事務等経費	4,056	消耗品費・印刷製本費・通信運搬費・会議費等・使用料・賃金・農地情報システムリース料
委託料	4,768	転作確認事務委託(現場確認、申請書類等の配布、回収)、農地情報システム保守委託料
補助金	72	町内の個別担い手により結成された水田農業担い手研修会への補助金
返還金	299	直接支払推進事業分過年度返還金(県費298,365円、町費612円) 再生協議会 → 町一般会計 → 県
合 計	9,587	(直接支払推進事業、担い手育成総合支援事業分)

再生協議会会計

区 分	決 算 額	説 明
19. 負担金、補助及び交付金	9,288	白石町直接支払推進事業費補助金
23. 償還金利子及び割引料	299	平成25年度佐賀県直接支払推進事業費返還金(県費298,365円)
合 計	9,587	

一般会計

3 事業効果

米の需給調整、転作物の定着を推進し地域農業の基幹となる水田農業の健全な発展に貢献するとともに、地域の実情に応じた集落営農組織の経営発展を図ることができた。

単位：千円

年度	28	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	6	細事業名	さが肥育素牛・自給飼料生産拡大施設等 整備事業費補助金			所属	農業振興課 振興係	
目名称		畜産業費				財源内訳					決算書頁	
決算額		44,526				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		(44,526)					36,932			7,594	103	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第1節	農林水産業の振興				
-------------------------------	--	-------------	----------------------	--	--	-------------	----------	--	--	--	--

1 事業概要

消費者が求める高品質で、安全・安心な畜産物の生産拡大により、佐賀産畜産物の銘柄を確立する。

- 肥育素牛
 - ・ 肥育素牛の生産拡大を図るために必要な繁殖牛舎、省力化・生産性向上のための機械・装置、繁殖雌牛共同管理施設の整備に対して助成する。
 - ・ 事業主体 2戸以上の営農集団及び農業協同組合 ・ 補助率 県 1/2以内 町 1/10以上
- 自給飼料
 - ・ 効率的な飼料生産・流通体制の整備を図るために必要な栽培、収穫及び調整用機械の整備に対して助成する。
 - ・ 事業主体 2戸以上の営農集団及び農業協同組合 ・ 補助率 県 1/3以内 町 1/10以上

2 事業実績

19節 負担金補助及び交付金

○肥育素牛生産拡大施設等整備事業【2事業実施主体分】42,560千円

機械・施設	事業量	総事業費	補助対象事業費 (上限額) 税抜	財源内訳			備考
				県費補助金	町費	事業実施主体	
新規牛舎 木造6棟 (給水配管・電気工事は、上記に含む)	2,632.7㎡	55,501,946	52,223,875	35,420,000	7,140,000	46,816,061	大規模経営促進対策 補助率 県1/2、町1/10 増頭50頭、 飼養環境改善100頭
堆肥舎 2棟	720㎡	15,588,786	14,963,620				
堆肥攪拌機	1台	5,184,000	5,184,000				
付帯設備		9,136,433	8,669,057				
器具・備品費(温水給水器、DCファン類)	2台、49台	3,964,896	3,679,248				
合計		89,376,061	84,719,800	35,420,000	7,140,000	46,816,061	

○自給飼料生産・利用拡大対策事業【1事業実施主体分】1,966千円

機械・施設	事業量	総事業費	補助対象事業費 (上限額) 税抜	財源内訳			備考
				県費補助金	町費	事業実施主体	
ロールペイラー	1台	2,481,840	2,481,840	1,512,000	454,000	2,570,000	補助率 県1/3、町1/10
マニアスプレッダー	1台	1,655,640	1,655,640				
ロータリーレーキ	1台	398,520	398,520				
合計		4,536,000	4,536,000	1,512,000	454,000	2,570,000	

3 事業効果

飼料生産流通体制整備を図るための機械等の経費の一部を補助することにより、安全・安心な畜産物の生産拡大を図り、「しろい牛」ブランドの確立に資することができた。

年度	28	会計	一般会計											
款	2	項	1	目	8	細事業名	ふるさと応援事業費				所属	産業創生課 商工観光係		
目名称	地域づくり推進費					財源内訳					決算書頁			
決算額	425,972					国庫	県費	地方債	その他	一般財源				
(予算額)	(497,652)								262,123	163,849	54・55・57			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 6 章			参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】				基本計画 第 2 節		健全な行財政運営の推進		

1 事業概要

平成20年度からスタートした「ふるさと納税制度」によるふるさと寄附金を積み立て翌年度以降の事業費に充てる。また、寄附者に対し返礼品を送付する事業を白石町特産物PR推進協議会に委託し、特産物を贈ることにより本町特産物のPR推進を図る。

2 事業実績

寄附件数・金額

H28	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	件数(件)		633	643	1,132	847	1,074	1,603	1,858	3,638	5,912	1,369	1,717	2,037
金額(円)		7,590,000	7,315,000	12,500,000	10,490,000	15,176,500	20,965,001	21,875,000	55,450,930	67,090,052	10,515,000	13,855,000	18,801,000	261,623,483

節	細節	決算額(円)	主な支出内容
07. 賃金	日々雇用職員賃金	1,047,548	臨時職員賃金
08. 報償費	ふるさと応援寄附者謝礼	682,560	広告用ボールペン作成
09. 旅費	普通旅費	275,300	職員旅費(首都圏)
11. 需用費	消耗品費	199,789	事務用品・ハガキ用宛名シール
	印刷製本費	1,146,000	返信用封筒・パンフレット印刷
12. 役務費	通信運搬費	3,400,820	証明等郵送費
	広告料	3,683,321	専用サイト・新聞等広告費
	手数料	2,385,415	クレジット決済手数料
13. 委託料	その他委託料	149,528,096	特産品配送委託料・広告委託料
14. 使用料及び賃借料	事務機器リース料	1,315,440	ふるさと納税システム賃借料
25. 積立金	元金積立金	261,623,483	ふるさと基金元金積立金
		500,000	〃 (障がい者支援寄附金)
	利子積立金	184,203	ふるさと基金利子積立金

【参考】過年度の寄附件数金額

年度	件数	金額(円)
20年度	12	1,485,000
21年度	11	1,480,000
22年度	11	1,625,000
23年度	14	1,790,000
24年度	12	1,613,000
25年度	14	2,754,000
26年度	36	7,511,000
27年度	10,826	135,079,479

3 事業効果

全国2万人を超える方々より御寄附をいただいた。寄附額も2億6千万円を超え本町の財政運営に寄与することができた。また、当該事業を通じてインターネットや新聞等に本町特産物のPRをしたことで、特産物ブランド化に向けた活動も行うことができた。

年度	28	会計	一般会計									
款	2	項	1	目	8	細事業名	地域おこし協力隊推進事業(道の駅関連)			所属	産業創生課 6次産業推進係	
目名称		地域づくり推進費				財源内訳					決算書頁	
決算額		8,016 (予算額) (8,826)				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	53~56	
										8,016		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出		

1 事業概要 昨年に引き続き地域おこし協力隊員の協力を受け、道の駅しろいしに関連してくる事業に対し、貴重な意見等を聞きながら観光資源の発掘、地域の活性化を目指す。また、道の駅しろいしに関しては、管理運営体制検討協議会の下部組織としてワーキングチームを立ち上げ、運営等に関してもアドバイザーの助言を受けながら運営体制の確立に向け協議して行く。

2 事業実績
 ・地域おこし協力隊 1名継続
 ・外部アドバイザー招聘業務 1社委託

(円)

項目	内容	決算額
1.報酬	地域おこし協力隊員報酬	2,165,498
4.共済費	地域おこし協力隊員共済費	309,000
9.旅費	普通旅費(研修等)	459,854
11.需用費	消耗品費	129,862
	燃料費	74,214
	賄材料費	13,004
12.役務費	インターネット回線使用料	76,208
	協力隊員募集広告手数料	271,245
13.委託料	外部アドバイザー委託料	3,471,120
14.使用料及び賃借料	協力隊車両賃借料	298,080
	会場借上料	86,400
	協力隊住居賃借料	654,000
19.負担金補助金及び交付金	協力隊員研修会負担金	7,300
合計		8,015,785

3 事業効果 地域外の人材を活用したことにより、白石町を外からの目線で検証することができた。

年度	28	会計	一般会計									
款	2	項	1	目	8	細事業名	道の駅施設整備事業			所属	産業創生課 6次産業推進係・道の駅整備係	
目名称	地域づくり推進費					財源内訳						
決算額	27,845 (予算額) (31,807)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁	
								23,000	4,845	54~56		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第3章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第4節	新たな地域活力の創出		

1 事業概要 長距離ドライブや、女性・高齢者のドライバーが増加するなか、交通の円滑な流れを支えるため、一般道路にも安心して利用できる休憩施設の整備が求められている。また、有明海沿岸道路が開通すると、これまで以上町内に流入する車の量が増大することが見込まれる。このような状況を町のPRの機会の増大と捉え積極的に展開する必要がある。このようななか、今後、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供や地域振興を町民が一丸となって取り組める施設として「道の駅しろいし」を整備する。

- 2 事業実績
- 「道の駅しろいし」登録(平成28年10月7日 国土交通省)
 - 道の駅整備に係る委託料(造成・建築工事の基本・実施設計及び測量、汚水排水施設実施設計、移転補償算定業務、地質調査業務)
 - 道の駅しろいし管理運営体制検討協議会の下部組織としてワーキングチームを設立
 - しろいし共通ロゴ及びれんこん、たまねぎのロゴ作成、プロモーション事業(福岡市)10月~6回開催

(円)

項目	内容	決算額
9.旅 費	普通旅費	16,880
12.役 務 費	事業認定に伴う公告料及び申請手数料	357,800
13.委 託 料	道の駅整備に係る設計、調査等委託料	24,536,520
14.使用料及び賃借料	埋蔵文化財調査に伴う機械借上げ料	79,920
19.負担金補助金及び交付金	道の駅しろいし管理運営体制検討協議会運営支援補助金	2,853,628
合 計		27,844,748

3 事業効果

道路利用者への安全で快適な道路交通環境の情報や町の観光情報等の提供と、地域浮上のため町民が一丸となって取り組むための施設の基本計画並びに実施計画が完成した。また、道の駅しろいし管理運営体制検討協議会ワーキングチームを立ち上げたことにより、運営に必要な事項の素案作りについて検討を行うことができた。

年度	28	会計	一般会計								
款	2	項	1	目	8	細事業名	6次産品販路拡大事業 (地方創生加速化交付金事業)(繰越明許)			所属	産業創生課 6次産業推進係
目名称	農業振興費					財源内訳					
決算額	3,126					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	(4,710)					2,768				358	56
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第3章		活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第1節	農林水産業の振興	

1 事業概要

平成26年度より「6次産業推進補助事業」を創設し、6次化を目指す農林漁業者等に支援し取組事業者も増加傾向にある。しかしながら、生産者が自ら商品開発・販路開拓していく上で専門的な知識やノウハウが少なく個々の事業者がそれぞれPRし販路を拡大するのは大きな課題である。
 このような課題を町全体で取組むため、事業者・金融機関・行政が連携し、「白石町6次産業推進協議会」を設置し、情報交換や研修会、販路拡大のための商談会への参加を行い、白石ブランドの確立、地域産業の活性化を図る。

2 事業実績

- 白石町6次産業推進協議会の設置
- 商談会への参加(地方銀行フードセレクション)

19.負担金補助金及び交付金 6次産品販路開拓事業補助金 3,126,012円
 白石町6次産業推進協議会支出内訳 (円)

項目	内容	決算額
商談会参加費	小間料	1,242,000
	荷物送料	160,976
	出展者旅費(15名)	1,223,700
	追加資材	141,480
事務費	消耗品費	22,096
	職員随行旅費	335,760
合計		3,126,012

3 事業効果

研修会、商談会へ参加したことにより、新たな取引先や商談に結び付けることができた。

年度	28	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	3	細事業名	6次産業推進事業				所属	産業創生課 6次産業推進係
目名称		農業振興費				財源内訳					決算書頁	
決算額		4,496				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		(5,052)							4,000	496	100・101	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第3章		活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第1節		農林水産業の振興	

1 事業概要 平成23年3月「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」が施行されたことに伴い、本町産業の基軸である農業を持続し、発展させていくためには、農産物の生産に留まらず、加工や販売も併せた総合産業化を目指し、農家所得の向上や地域の活性化を図る。

2 事業実績

- 6次産業活性化委員会 年度中2回開催
- 6次産業推進事業補助金交付 14事業者、14件の事業を採択
- 販路開拓等 地方銀行フードセレクションへ参加(販路拡大事業)
都庁での6次製品の販売・PRへ参加

(円)

項目	内容	決算額
8.報償費	活性化委員報償	54,000
9.旅費	6次産業視察及び商談会視察旅費	161,220
11.需用費	消耗品費	12,949
19.負担金、補助及び交付金	6次産業推進事業補助金	4,268,000
合計		4,496,169

※ふるさと基金 4,000千円充当

3 事業効果 6次化に興味のある事業者を発掘することができたとともに、6次産業推進事業費補助による一次産業者の事業多角化へ向け寄与することができた。

年度	28	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	3	細事業名	新規農産物開発研究費				所属	産業創生課 6次産業推進係
目名称	農業振興費					財源内訳					決算書頁	
決算額	1,676					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	(2,000)									1,676	101	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第3章		活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】					基本計画 第1節	農林水産業の振興	

1 事業概要

山間部においては遊休農地化が進んでおり、その要因として農業者の高齢化、主力品目であるみかんの低迷などが考えられる。特に白岩地区においては後継者不足もあり、みかんの作付面積も減少傾向にある。

そこで、白岩地区をモデル地区に認定し、新たな果樹等の試験栽培を行い、売れる農産物、手間のかからない農産物の開発を目指す。また、収穫できた物は直売所等での試験販売を行い、売れる物については広く推進して作付面積の拡大を図る。なお、商品にならない物についても加工品の原材料として使用し、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも掲げているとおり、儲かる農産物の開発を目指す。

2 事業実績

●ブルーベリー、璃の香を中心に111本を定植し、試験栽培を開始

19.負担金補助金及び交付金 新規農産物開発研究費補助金 1,675,663円

白岩地区果樹試験組合支出内訳 (円)

項目	内容	決算額
原材料費	苗木代	206,349
	肥料農薬代	107,300
	有害鳥獣対策費	270,842
	農具費、燃料費、資材代	343,846
使用料及び賃借料	借地料	38,470
	整地費等	552,340
委託料	作業委託料等	156,516
合計		1,675,663

3 事業効果

白石町内でもあまりできていない新規の果樹試験栽培に着手することができた。

年度	28	会計	一般会計									
款	7	項	1	目	1	細事業名	しろいしブランド確立対策事業				所属	産業創生課 商工観光係
目名称	商工振興費					財源内訳					決算書頁	
決算額	4,039					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	114	
(予算額)	(4,300)									4,039		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章			活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興	

1 事業概要

本町の産業振興及び経営の安定を図るため、農協、商工会、漁協、産物直売所等との連携を図り、産地間競争が激しい農・水産物のブランド化に努め、販売促進、有利販売のための施策を講じた。主に農産物の大消費地である首都圏において、玉葱・蓮根のトップセールス及び3回目となる「都庁白石町フェア」を一週間にわたり開催し消費者に対し直接本町特産物のPRを行った。

また、特産物のブランド化・PRにマスコットキャラクター「しろいしみのりちゃん」を活用し、販促グッズやイメージソングを使って、各種事業を展開した。

2 事業実績

19. 負担金補助及び交付金 4,039 千円

事業主体:白石町特産物PR推進協議会

- | | |
|------------------------|--|
| (1) 協議会宣伝活動 | キャラクターグッズ製作(長距離トラックPRステッカー・みのりちゃんシール等) |
| (2) 産物消費宣伝活動 | 佐賀うまいものフェア(イオン九州大野城店)白石特産物宣伝
首都圏での玉葱・蓮根トップセールス等 |
| (3) 米消費拡大対策事業 | 歌垣ロードレース、嘉瀬川ダム記念事業、小中学校(9校)での消費拡大宣伝活動 |
| (4) 消費地との交流事業 | れんこんの穴から未来が見えるIN福岡の開催(福岡市役所前広場) |
| (5) 白石ブランドイメージアップ事業 .. | 東京都庁での白石特産物フェア |

白石町特産物PR推進協議会 事業内容

[収入]

(1)町補助金	4,039 千円
(2)特産物・グッズ売上等	450 千円
計	4,489 千円

[支出]

(1)協議会宣伝活動	995 千円
(2)産物消費宣伝活動	1,303 千円
(3)米消費拡大対策事業	498 千円
(4)消費地との交流事業	192 千円
(5)ブランドイメージアップ事業	1,501 千円
計	4,489 千円

3 事業効果

特産物PRについて首都圏でのPRに力をいれてきたが、特に玉葱について消費者の認知度が高まってきている。また、マスコミも興味を持っていただきテレビでの放映や雑誌の掲載がたびたび行われるようになった。蓮根をはじめ他の特産物についても力をいれていきたい。

年度	28	会計	一般会計			細事業名	観光費					所属	産業創生課	
款	7	項	1	目	2		観光費						商工観光係	
目名称		観光費				財源内訳					決算書頁			
決算額		2,434				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	2,434			115・116
(予算額)		(2,695)												
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第3章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】					基本計画 第3節		観光の振興		

1 事業概要

平成27年度策定した「白石町観光振興基本計画」に沿って観光推進協議会で協議を行い観光推進を図っている。平成28年度については計5回協議会を開催し主に観光情報の発信について検討を行った。主要幹線沿いの町内商店等に観光情報発信所として協力していただくものとし、観光旗・観光タペストリー・パンフレットラックを作成した。また、歌垣公園内2箇所のトイレについて、高齢者や障がい者が使用し易くするため洋式化を行い、手摺等の整備を行った。

2 事業実績

節	決算額	主な支出内容
08. 報償費	248 千円	観光推進協議会委員報酬
11. 需用費	654 千円	観光旗・タペストリー・パンフレット印刷費 他
13. 委託料	162 千円	パンフレット原案製作委託料
14. 使用料及び賃借料	89 千円	観光看板設置借地料
15. 工事請負費	878 千円	歌垣公園トイレ洋式化工事
19. 負担金、補助及び交付金	403 千円	県観光連盟等負担金
合計	2,434 千円	

3 事業効果

「白石町観光振興基本計画」に沿って観光振興を進めていくことで、町内に有する観光、歴史的資産等を活用し、町民にはその観光、歴史的資産の価値を再認識してもらおうとともに、誘客体制を整備し観光客を増加させることで町産業の振興を図った。

年度	28	会計	一般会計									
款	7	項	1	目	2	細事業名	まちおこし事業				所属	産業創生課 商工観光係
目名称	観光費					財源内訳					決算書頁	
決算額	6,557					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	(8,361)							5,000		1,557	115・116	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章			活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出	

1 事業概要

本事業は、町・農協・漁協・商工会をはじめ婦人連絡協議会・町文化協会・まちおこしグループ等の町内各種団体が連携し、イベント等を開催することによる町のPRはもとより、町民の交流を図り、異業種の交流による新たな個人事業の展開など町及び町民の活性化を目的とする。なお、本事業経費については町、杵藤地区広域圏組合、農協、商工会、町内3漁協の補助金及びその他団体・個人からの協賛金をこれに充てる。

2 事業実績

- 11. 需用費 484 千円 祭用ステージ天板張替
- 19. 負担金補助及び交付金 6,073 千円 白石町まちおこし運営事業費補助金

事業主体:白石町まちおこし運営委員会

町内各種団体の代表者による白石町まちおこし運営委員会で、町の年間イベントとして春・夏・秋にイベント開催を計画した。また、各イベント開催にあたり、各地域で実行委員会を組織し、町民一体となったイベントを実施した。

なお、H28年度は「まちおこし振興補助金」を活用した新規にイベントを企画した団体からの申請はなかった。

(支出内訳)

しろいし歌垣春まつり	H28.04.17	歌垣公園	熊本地震のため中止	決算額	1,142,604 円
しろいし夏まつり	H28.08.16	ふくどみマイランド公園	【集客数】約8,000名		2,655,565 円
しろいしべったんこ祭	H28.11.20	有明スカイパークふれあい郷	【集客数】約13,000名		3,198,872 円
まちおこし振興補助金		まちおこし団体(イベント)への補助	申請 0件		0 円
祭用ステージ補修等		ステージ脚部修繕			56,160 円
スペースガード設置		歌垣公園内通路車両止め設置			208,440 円
臼修繕		べったんこ祭用臼10個修繕			369,200 円
				総事業費	7,630,841 円

(補助・協賛団体別内訳)

◇町補助金	6,072,940 円	◇白石漁協	58,767 円	◇白石町商工会	176,300 円
◇杵藤地区広域市町村圏組合	459,000 円	◇福富漁協	58,767 円	◇その他協賛金等	570,000 円
◇JAさが白石中央支所	176,300 円	◇新有明漁協	58,767 円	収入合計	7,630,841 円

3 事業効果

事業目的の推進を図るための白石町まちおこし運営委員会により、春・夏・秋それぞれのイベント開催計画の企画等からの実行委員会の設立を行ったので、民間主導型のまちおこし事業の推進体制が確立されている。残念ながら春まつりは3回連続で中止となったが、それ以外のイベントでは町内外から多くの参加があり、交流と町のPRが図られた。

単位:千円

年度	28	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金農地維持支払事業				所属	農村整備課 農村整備係
目名称	農地費					財源内訳					決算書頁	
決算額	155,306					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	(155,307)						116,499			38,807	105	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 事業概要

農業農村は、国土保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を有しているが、近年、農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつある。このため、農業者等による組織が取組む、水路の泥上げや農道の砂利補充等の地域資源の基礎的保全活動を支援する。

2 事業実績

農業者等による組織が取組む地域資源の基礎的保全活動(草刈り、水路の泥上げ)や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化など多面的機能を支える共同活動を支援を行った。

多面的機能支払交付金農地維持支払事業 【 負担割合 : 国50%、県25%、町25% 】

○ 19.負担金、補助及び交付金 155,224,200 円 活動組織数 68組織

支援単価	対象農地面積(ha)	事業費	内訳		
			国費	県費	町費
田 3,000円/10a	5,041.95	151,150,200	75,575,100	37,787,550	37,787,550
畑 2,000円/10a	203.72	4,074,000	2,037,000	1,018,500	1,018,500
計	5,245.67	155,224,200	77,612,100	38,806,050	38,806,050

○ 23.償還金、利子及び割引料 81,525 円 ※国費54,350円、県費27,175円(転用等による対象農用地の減によるもの)

3 事業の効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られた。(受益農地面積 5,245ha)

単位:千円

年度	28	会計	一般会計								
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金資源向上支払(共同活動)事業			所属	農村整備課 農村整備係
目名称	農地費					財源内訳					決算書頁
決算額	95,036					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
(予算額)	(95,095)						71,608			23,428	103~105

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 事業概要

農業農村は、国土保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を有しているが、近年、農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつある。このため、地域住民を含む組織が取組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽や景観形成等農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動を支援する。

2 事業実績

地域住民を含み組織が取組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽や景観形成等農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動を支援を行った。

支援単価 多面的機能支払交付金資源向上支払(共同活動)事業 【負担割合：国50%、県25%、町25%】 活動組織数 67組織

田	2,400円/10a (1,800円/10a)	畑	1,440円/10a (1,080円/10a)	農地・水保全管理支払の5年以上継続地区及び資源向上支払(長寿命化)を取組む場合は支援単価の75%単価を適用。弥築、中廿治、福吉、太原上の4地区が基本単価適用地区。
---	-------------------------	---	-------------------------	---

	対象農地面積(ha)		事業費	内訳			組織数
	田	畑		国費	県費	町費	
5年以上継続地区又は長寿命化取組地区	4,798.99	128.03	87,663,078	43,831,539	21,915,766	21,915,773	63
5年未満 (長寿命化未取組)	242.96	3.36	5,878,504	2,939,252	1,469,626	1,469,626	4
計	5,041.95	131.39	93,541,582	46,770,791	23,385,392	23,385,399	67

○ 7.賃金(嘱託職員賃金)	720,728 円	事務費(県推進交付金)	1,376,000 円
○ 9.旅費 特別旅費(多面的機能支払研修)	10,740 円	事務費(町費)	41,388 円
○ 11.需用費(消耗品費)	669,672 円	計	1,417,388 円
○ 12.役務費 通信運搬費(切手代)	16,248 円		
○ 19.負担金、補助及び交付金	93,541,582 円		
○ 23.償還金、利子及び割引料	76,793 円		

※国費51,193円、県費25,600円(転用等による対象農用地の減によるもの)

3 事業の効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られた。(受益農地面積 5,173ha)

単位:千円

年度	28	会計	一般会計								
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金資源向上支払(長寿命化)事業			所属	農村整備課 農村整備係
目名称	農地費					財源内訳					
決算額	175,984					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	(175,985)						132,014			43,970	105

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 事業概要

農業農村は、国土保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を有しているが、近年、農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつある。このため、地域住民を含む組織が取組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽や景観形成等農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図り、施設の長寿命化のための活動を支援する。

2 事業実績

水路の整備、更新 ・ 農道のコンクリート、アスファルト舗装 ・ ゲート、ポンプの整備、更新 ・ 土側溝のコンクリート側溝への更新 ・ ため池のゲート、バルブの更新 等

多面的機能支払交付金資源向上支払(長寿命化)事業 【 負担割合 : 国50%、県25%、町25% 】

○19.負担金、補助及び交付 175,875,248 円 活動組織数 51組織

	対象農地面積(ha)		事業費	内訳			組織数
	田	畑		国費	県費	町費	
基本単価	4,327.39	121.53	175,226,124	87,613,062	43,806,531	43,806,531	51
5/6単価適用(面積増の部分)	19.47	0.00	649,124	324,562	162,281	162,281	1(内数)
計	4,346.86	121.53	175,875,248	87,937,624	43,968,812	43,968,812	51

○23.償還金、利子及び割引 108,210 円 ※国費72,140円、県費36,070円(転用等による対象農用地の減によるもの)

3 事業の効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られた。(受益農地面積 4,468ha)

単位:千円

年度	28	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	7	細事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業費			所属	農村整備課 農村管理係	
目名称		農地費				財源内訳					決算書頁	
決算額		25,240				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	104	
(予算額)		(25,240)								25,240		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第3章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第1節		農林水産業の振興		

1 事業概要

国営筑後川下流土地改良事業で造成された有明1号～3号までの各排水機場については、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。
これらの施設は、耐用年数の経過とともにその機能の低下等が懸念される。このため計画的な保全計画を策定し、コストの最小化や財政負担の平準化を図るストックマネジメントの手法を導入し、施設の状況に応じた計画的な整備、補修を行う。
また、八平第1・八平第2・六府方排水機場についても、計画的に整備・補修を行う。

2 事業実績

19.負担金補助及び交付金
基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金 25,240 千円
事業費 126,200千円 (負担割合 国 50% 県 30% 町20%)

【内容】

町内の用排水の基幹的な役割を果たしている基幹水利施設を、計画的に整備し将来的に機能を維持するため、実施計画書に基づき順次整備するもの。
事業主体は県となっており町は負担金を支払う。

- 八平第1排水機場 : 昭和63年度築造 排水能力 2.4t/s
・除塵機本体更新
- 八平第2排水機場 : 平成4年度築造 排水能力 3.5t/s
・屋内操作盤、配管弁類、空気圧縮機、燃料移送ポンプ更新
- 六府方排水機場 : 平成3年度築造 排水能力 4t/s
・屋内操作盤、配管弁類、更新

3 事業効果

計画的な整備、補修を行うことによりライフサイクルコストの低減や施設の長寿命化が見込める。

年度	28	会計	一般会計			単位:千円						
款	6	項	1	目	7	細事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業			所属	農村整備課 農村管理係	
目名称		農地費				財源内訳					決算書頁	
決算額		42,895				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	103~105	
(予算額)		(43,124)					23,996		3,611	15,288		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興		

1 事業概要

地盤沈下対策事業、県営圃場整備事業等で造成された農業水利施設は、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。

これらの施設は、耐用年数の経過とともに、今後急速にその機能の低下等が懸念される。既存の施設の有効活用を図りつつ、施設の機能を効率的に保全していくことが求められていることから、コストの最小化や財政負担の平準化を図るためストックマネジメントの手法を導入し施設の状況に応じたきめ細かい対策を講じている。

地沈水路の制水門などの基幹的な役割を果たしている施設については町、揚水機・支線水路などについては土地改良区が実施主体となって計画的に整備し、その機能を維持していくこととしている。

2 事業実績

11.需用費(消耗品・燃料費) 33 千円

15.工事請負費 36,116 千円

【内訳】 制水門整備工事
ゲート補修整備・更新、開閉装置整備 8箇所(15門)

19.負担金補助及び交付金
負担金 857 千円

補助金 5,889 千円
※ 白石土地改良区が行う事業に対する補助
(補助対象事業費 11,778千円 の50%)

3 事業効果

土地改良施設等の劣化状況に応じた、計画的な更新や予防的な保全対策を行うことができた。

単位:千円

年度	28	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	7	細事業名	農業基盤整備促進事業				所属	農村整備課 農村整備係
目名称	農地費					財源内訳					決算書頁	
決算額	54,725					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	(112,000)					29,799		20,000	2,733	2,193	103・104	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興		
1 事業概要												
農道を適切に維持管理し、その機能を十分に発揮させ農業の振興と農村環境の保全を図るため、町内未舗装農道の舗装工事を行うことにより施設機能の保持・保全を図った。												
2 事業実績												
○ 11.需用費 51,439 円 (土地改良工事積算基準書他)												
○ 13.委託料 2,246,400 円												
【内訳】												
農業基盤整備促進事業白石第8地区農道地質調査業務委託 1,188,000 円												
農業基盤整備促進事業白石第8地区農道地質調査業務委託(第2期) 1,058,400 円												
○ 15.工事請負費 52,426,440 円												
【内訳】												
農業基盤整備促進事業 白石第8地区農道舗装工事(1工区) (代行8号) L=290.7m 5,689,440 円												
農業基盤整備促進事業 白石第8地区農道舗装工事(2工区) (八平39号) L=453.5m 9,534,240 円												
農業基盤整備促進事業 白石第8地区農道舗装工事(3工区) (有明第一119号、121号) L=485.9m 10,302,120 円												
農業基盤整備促進事業 白石第8地区農道舗装工事(4工区) (有明第一125号、126号、127号) L=611.1m 17,206,560 円												
農業基盤整備促進事業 白石第8地区農道舗装工事(5工区) (八平40号) L=449.2m 9,694,080 円												
○ 農業基盤整備促進事業(H28当初予算繰越額) 5,000,000 円												
○ 農業基盤整備促進事業(H28補正予算繰越額) 51,300,000 円												
3 事業効果												
農道等を整備補修することにより、施設の機能を十分に発揮することができた。												

土地改良区分担金 ○基盤整備(農道整備) $54,672,840 * 5\% = 2,733,640$

年度	28	会計	一般会計			単位:千円																																									
款	6	項	1	目	9	細事業名	基幹水利施設管理事業(佐賀西部白石地区)			所属	農村整備課 農村管理係																																				
目名称	水利施設管理事業費					財源内訳					決算書頁																																				
決算額	17,271					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	106・107・108																																				
(予算額)	(18,160)						8,172		572	8,527																																					
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興																																					
<p>1 事業概要</p> <p>国営筑後川土地改良事業により造成された基幹水利施設である白石平野揚水機場、佐賀西部導水路白石線、山脚導水路、白石導水路(調圧水槽を含む)の管理に関し地域農業の農業用水等の需要に的確に対応するとともに、施設のもつ公共・公益的機能を十分に発揮させるため、施設の適正管理に資するもの。</p> <p>補助率 国 30% 県30% 町 40%</p> <p>管理対象施設 : 揚水機場 1箇所(揚水量 2.94×2=5.88m³/S)、 佐賀西部導水路白石線 8,122m 山脚導水路 6,565m 白石導水路 2,498m 合計 17,185m(調圧水槽を含む)</p> <p>管理事業内容 揚水機場 電気保安点検・操作・管理点検委託 導水路 操作・管理点検委託</p>																																															
<p>2 事業実績</p> <table border="0"> <tr> <td>11.需用費</td> <td>消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕料</td> <td>9,721</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>12.役務費</td> <td>通信運搬費・手数料・保険料</td> <td>1,429</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>13.委託料</td> <td>6,100 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>【内訳】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・白石平野揚水機場保安管理業務委託(高圧分)</td> <td>262,440</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・白石平野揚水機場保安管理業務委託(低圧分)</td> <td>71,280</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・白石平野揚水機場ポンプ施設点検業務委託</td> <td>1,404,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・白石平野揚水機場等の操作業務委託</td> <td>690,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・白石平野地区水管理システム点検業務委託</td> <td>3,672,000</td> <td>円</td> </tr> </table> <p>14.使用料及び賃借料 土地借上げ料(JR敷地)</p> <p>21 千円</p>												11.需用費	消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕料	9,721	千円	12.役務費	通信運搬費・手数料・保険料	1,429	千円	13.委託料	6,100 千円				【内訳】				・白石平野揚水機場保安管理業務委託(高圧分)	262,440	円		・白石平野揚水機場保安管理業務委託(低圧分)	71,280	円		・白石平野揚水機場ポンプ施設点検業務委託	1,404,000	円		・白石平野揚水機場等の操作業務委託	690,000	円		・白石平野地区水管理システム点検業務委託	3,672,000	円
11.需用費	消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕料	9,721	千円																																												
12.役務費	通信運搬費・手数料・保険料	1,429	千円																																												
13.委託料	6,100 千円																																														
	【内訳】																																														
	・白石平野揚水機場保安管理業務委託(高圧分)	262,440	円																																												
	・白石平野揚水機場保安管理業務委託(低圧分)	71,280	円																																												
	・白石平野揚水機場ポンプ施設点検業務委託	1,404,000	円																																												
	・白石平野揚水機場等の操作業務委託	690,000	円																																												
	・白石平野地区水管理システム点検業務委託	3,672,000	円																																												
<p>3 事業効果</p> <p>適正な管理を行うことができ、施設の安定的な稼働が図られた。</p>																																															

年度	28	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	11	細事業名	ため池等整備事業費				所属	農村整備課 農村整備係
目名称		ため池等整備事業費				財源内訳					決算書頁	
決算額	34,816					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	(38,555)						27,336		3,405	4,075	109	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興		
1 事業概要												
<p>堤体より漏水が確認されているため池について、坂田ため池は県営事業により堤体改修を、坊ヶ谷ため池は測量試験(土質試験・測量設計)を行った。 近年の豪雨や大規模地震等により多くのため池が被災し大きな被害が生じていることを踏まえて、町内3カ所の防災重点ため池の詳細調査(耐震調査等)を行った。また、武雄市内に在し白石土地改良区が管理するため池についても詳細調査対象であるため、白石土地改良区に対し補助金の交付を行った。</p>												
2 事業実績												
○ 11.需用費 37,486 円												
○ 13.委託料												
調査・診断業務委託料		15,847,920	佐賀県土地改良事業団体連合会 【財源内訳】 国費 15,839,000円 町費8,920円					ため池耐震性照査業務(梅ノ木谷、泉、新ため池)				
○ 19.負担金、補助及び交付金												
県営ため池整備事業負担金		7,433,265	佐賀県 【坂田ため池】 41,100千円*15%(国55%、県30%、地元15%) 【坊ヶ谷ため池】 8,600千円*15%(国55%、県30%、地元15%)					県営ため池整備事業(坂田地区、坊ヶ谷地区)				
ため池詳細調査事業費補助金		11,497,000	白石土地改良区 【財源内訳】 国費 11,497,000円					ため池耐震性照査業務(永池中、永池下ため池)				
3 事業効果												
<p>堤体から漏水しているため池を改修することにより、農業用水の確保、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保に寄与することができる。また、詳細調査を行うことにより、ため池の安全性を検証し、必要な場合に改修やハザードマップ作成を行う。</p>												

単位:千円

年度	28	会計	一般会計									
款	6	項	3	目	1	細事業名	漁業環境保全事業費				所属	農村整備課 水産林務係
目 名 称	水産振興費					財源内訳					決算書頁	
決 算 額	19,173					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予 算 額)	(19,371)						14,143		2,357	2,673	112	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興		

1.事業概要

漁場の海底耕耘、清掃等の整備開発を行い、漁場としての機能を回復させることにより、対象漁貝類生産の回復増大を図り、漁業者の安定した経営と所得の向上を図る。
 漁業生産等に伴って多量に発生する「漁業用生産資材廃棄物」の適正処理を推進し、環境保全を図ると共に、廃棄物のリサイクルによる資源の有効活用に寄与する。

2.事業実績

事業費(実績)

- 11. 需要費 96,164 円 消耗品費82,894円、燃料費13,270円
- 13. 委託料 18,856,800 円 漁場環境保全整備事業(海底耕耘・堆積物除去)委託
- 19. 負担金、補助及び交付金 220,400 円 漁業用生産資材廃棄物適正処理事業補助金

(漁場環境保全整備事業決算内容)

事業費(円)	事業量 (ha)	負担区分			
		国庫補助金	県費補助金	白石町	漁協
		50%	25%	12.5%	12.5%
18,856,800	433.8	9,428,400	4,714,200	2,357,100	2,357,100

(漁業用生産資材廃棄物適正処理事業決算内容)

支 所	廃棄物物品名	数量 (m3)	金 額 (円)	補助金額
福富町支所	落下傘(牡蠣カラ付き)	25	216,000	
	廃プラスチック類	20	118,800	
	小 計	45	334,800	63,300
新有明支所	落下傘(牡蠣カラ付き)	32.5	280,800	
	廃プラスチック類	0	0	
	小 計	32.5	280,800	53,100
白石支所	落下傘(牡蠣カラ付き)	25	375,000	
	廃プラスチック類	20	174,960	
	小 計	45	549,960	104,000
合 計		122.5	1,165,560	220,400

3.事業効果

効用の低下している漁場の生産力の回復や、水産資源の生息場の環境改善の効果が期待できる。
 漁業用生産資材の廃棄物が適切に処理され、漁場環境の保全が図られた。

年度	28	会計	一般会計									
款	6	項	3	目	3	細事業名	漁港整備事業費(住ノ江)				所属	農村整備課 水産林務係
目名称	漁港整備事業費					財源内訳					決算書頁	
決算額	8,037 (予算額) (13,038)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	113	
							3,544			4,493		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興	

1 事業概要

海苔養殖業の施設の集約化等に対応するため、堤防背後地に漁港施設用地を確保し、コスト削減、就労環境の改善を図る。
 安全性・機能性・快適性等の漁業環境改善と水産物流通の効率化のため住ノ江漁港の早期着工へ向けた取り組みを図る。
 効率的な維持管理、既存施設の長寿命化を図りライフサイクルコストの縮減を目的として、施設の機能を保全するために必要な日常管理や保全・更新工事を盛り込んだ機能保全計画書の策定を行う。

2 事業実績

- 事業名 漁港施設ストックマネジメント事業
- 負担区分 国費50% 町費50%
- 業務概要 機能診断、機能保全計画策定
- 対象漁港 住ノ江漁港
- 対象施設 6号物揚場、6号物揚場取付棧橋、休けい用泊地

事業費(実績)

- 11. 需要費 301,397 円 消耗品費69,537円、燃料費3,872円、修繕料227,988円
- 12. 役務費 40,540 円 自動車車検手数料12,700円、自動車賠償責任保険料27,840円
- 13. 委託料 7,088,040 円 水産物供給基盤機能保全業務委託
4,860,000 円※(H28繰越)水産生産基盤整備事業住ノ江漁港認可設計業務委託
- 14. 使用料及び賃借料 581,949 円 事務機器リース料
- 27. 公課費 24,600 円 自動車重量税

3 事業効果

既存施設の計画的な整備、補修を行うことによりライフサイクルコストの縮減や施設の長寿命化が見込める。

単位:千円

年度	28	会計	一般会計									
款	8	項	1	目	1	細事業名	住民協働・道路等環境整備事業費			所属	建設課 維持管理係	
目名称	土木総務費					財源内訳					決算書頁	
決算額	5,478 (予算額) (6,000)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	118	
									5,478			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 6 章	参加と協働で築く町民主体の町【町民参加・住民協働】				基本計画 第 1 節	参加と協働の推進			

○道路等環境整備事業

1 事業概要 各地区が主体となって施行する地区内の環境整備事業に対し、事業費の80%を限度として補助を行った。(道路整備、水路整備)

2 事業実績 19 負担金補助及び交付金 1,200,000 円 実施地区数 1地区

地区名	事業内容		対象事業費	交付金額	補助率
秀村区	水路法面Co工事	水路法面Co整備工 L=90.0m	1,500,000	1,200,000	80%
合計			1,500,000	1,200,000	80%

3 事業効果 地域住民の生活に必要な不可欠な道路や水路を、地域が主体となって施工される補助事業であり、生活環境の向上に寄与することができた。

○住民協働環境整備資材支給事業

1 事業概要 地域住民の生活環境を整備し、住みよい町づくりを推進するため、地域住民自ら施工する事業にかかる経費のうち、資材代や機械借上料等の補助をおこなった。

2 事業実績 19 負担金補助及び交付金 4,277,800 円 実施地区数 9地区

地区名	事業内容	交付金額	地区名	事業内容	交付金額
栄町区	水路蓋設置工事	500,000	小島区	町道法面Co打設工事	485,559
北区	町道法面Co打設工事	500,000	岡崎区	町道法面Co打設工事	500,000
今泉区	町道法面Co打設工事	475,592	下区	町道法面Co打設工事	490,848
吉村区	町道法面Co打設工事	500,000	大戸区	町道法面Co打設工事	328,200
福吉区	町道離合場所整備工事	497,601	合計	9地区	4,277,800

3 事業効果 町内の生活環境施設の小規模な維持管理を住民と協働で行うことで、環境の改善と地域の活力の増進を図ることができた。

合計 5,477,800 円

単位:千円

年度	28	会計	一般会計			細事業名	社会資本整備総合交付金事業 (道路ストック総点検事業)				所属	建設課 建設係
款	8	項	2	目	1		財 源 内 訳					
目 名 称		道路維持費				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁	
決 算 額 (予 算 額)		120,555 (122,200)				71,383			48,000	1,172	118・119	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実
-------------------------------	---------------	------------------------	---------------	---------------

1 事業概要

町内の町道総延長は約430kmあるが、既にアスファルト舗装の耐用年数が過ぎて老朽化の激しい箇所が多い。
平成26年度に約200kmの路面性状調査を行い、緊急性の高い路線から順次舗装補修を実施することで、安心・安全で快適な通行を確保する。

2 事業実績

区分	11 需用費	13 委託料	15 工事請負費	計	主な事業内容
路線名等					
町道新村潮音寺線			6,413	6,413	施工延長L=271m、舗装工A=1,047㎡ 区画線工L=576m、安全施設工 4箇所
町道原田室島線			12,316	12,316	施工延長L=360m、舗装工A=1,573㎡ 区画線工L=946m
町道大戸片町線			22,619	22,619	施工延長L=365m、舗装工A=1,999㎡ 区画線工L=832m、排水構造物工L=126m
町道弁財線			8,573	8,573	施工延長L=165m、舗装工A=760㎡ 区画線工L=361m
町道廿治八反田線			7,814	7,814	施工延長L=209m、舗装工A=742㎡ 区画線工L=439m
町道直江線			9,247	9,247	施工延長L=240m、舗装工A=736㎡ 区画線工L=520m
町道六府方東部線(2工区)			10,878	10,878	施工延長L=200m、舗装工A=857㎡ 区画線工L=433m、排水構造物工L=65m
町道廻里津大和線			24,052	24,052	施工延長L=608m、舗装工A=4,524㎡ 区画線工L=1,780m、安全施設工 15箇所
町道岡崎線			9,560	9,560	施工延長L=261m、舗装工A=986㎡、排水構造物工L=21.5m 区画線工L=542m、法面整形工A=198㎡
付帯工事			184	184	町道原田室島線路床改良工 A=488㎡
修繕工法調査検討業務		8,613		8,613	調査対象路線10路線L=7.48km、舗装構成調査、舗装修繕工法検討 路面性状調査4路線L=1.02km
事務費	286			286	現場用消耗品
計	286	8,613	111,656	120,555	

※公共施設整備基金 48,000千円充当

3 事業効果

老朽化した路線の舗装補修を実施し、道路利用者の安心・安全な通行が確保できた。

単位:千円

年度	28	会計	一般会計			細事業名	社会資本整備総合交付金事業 (道路新設改良費)				所属	建設課 建設係	
款	8	項	2	目	2		財 源 内 訳						
目 名 称		道路新設改良費									決算書頁		
決 算 額 (予 算 額)		80,118 (83,400)				国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
						47,177		31,400		1,541	120・121		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実				

1 事業概要

社会資本整備総合交付金で取り組む路線は、小学、中学及び高校の通学路で主要道路となっている。
しかし、いずれの路線も道路幅が狭く、歩行者が危険な状況である。
このため、新しく歩道を設置し、道路を整備することにより、歩行者の安全を確保し、人に優しい交通環境の整備を図る。

2 事業実績

路線名等	区 分	9 旅費	11 需用費	13 委託料	15 工事請負費	16 原材料費	17 公有財産 購入費	22 補償補填 及び賠償金	計	主な事業内容
町道中郷揚田線(福田工区)				842	432		732	4,797	6,803	家屋移転補償算定業務 1戸 用地買収 1件 家屋移転補償 1戸 交差点変更設計業務
町道高町百貫線(深浦・坂田工区)				1,957	59,588		948	784	63,277	函渠地質調査 1箇所 家屋事前調査 3棟 道路改良舗装 L=264m 用地買収 2件 電柱移転 1本
町道秀村線				9,029					9,029	測量設計業務 L=280m 家屋移転補償算定業務 3戸 CBR試験 3箇所
事務費等		56	643			310			1,009	研修旅費、事務用消耗品費、原材料費
計		56	643	11,828	60,020	310	1,680	5,581	80,118	

3 事業効果

整備路線は、主に小中学校及び高校の通学路となっており、国の補助事業を活用した道路整備(歩道設置)を行ったことにより児童生徒の安全性が確保できた。

年度	28	会計	一般会計									
款	8	項	2	目	2	細事業名	道路新設改良費				所属	建設課 建設係
目名称		道路新設改良費				財源内訳					決算書頁	
決算額		81,422				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		(81,700)						73,600		7,822	120	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 3 節		体系的な交通網の整備・充実	

1 事業概要

地域住民の交通安全の確保を図るため、旧町間を結ぶ合併支援道路を主として整備を行い、地域の生活基盤の充実を図る。

2 事業実績

単位:千円

路線名等	工事種類	延長(m)	本工事費	土地 購入費	移転 補償費	事務費	計	主な事業内容		
町道白石13号線(新村線)	道路改良	181.0	21,533	1,516	8,428		31,477	(過疎債)	29,600千円	道路改良・舗装
町道白石15号線(古賀辺田線)	道路改良	120.2	20,844		1,575		22,419	(過疎債)	25,000千円	道路改良・舗装
町道郷司給線	道路改良	310.0	21,959				21,959	(過疎債)	19,000千円	道路改良・舗装
町道干拓線				48			48			
消耗品費						69	69			各種資料代
役務費						1	1			各種資料代
委託料						4,670	4,670			補償算定委託料
使用料及び賃借料						620	620			積算システム使用料
原材料費						159	159			現場用資材代
合 計	-	-	64,336	1,564	10,003	5,519	81,422			

3 事業効果

上記事業を行うことにより、地域住民の交通安全の確保及び利便性向上が図られた。

年度	28	会計	一般会計									
款	8	項	2	目	4	細事業名	橋りょう長寿命化事業			所属	建設課 建設係	
目名称		橋りょう維持費				財源内訳					決算書頁	
決算額		64,981 (予算額) (66,000)				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	121	
(予算額)						37,800		12,000		15,181		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 3 節		体系的な交通網の整備・充実		

1 事業概要

白石町が管理する橋梁を良好な管理の下に可能な限り永く利用していくために、点検によって橋梁の現状を正確に把握し、そのデータを基に予防保全型の修繕計画策定を行い、橋梁の長寿命化及び橋梁の修繕・架替え等に係る費用の縮減と平準化を図る。

2 事業実績

予算科目		金額	主な業務・工事内容
13. 委託料	詳細設計・補修設計業務	8,144	417-5号橋 L=15.6m (横手)、市萬橋 L=14.8m (福富)、末福橋 L=13.2m (福吉)、無名橋 18 L=6.3m (福富)
	橋梁点検業務	34,234	点検数 227橋
小計		42,378	
15. 工事費	469-1号橋補修工事 (町道八平南北線)	886	L=8.5m W=6.6m 表面含浸工・ひび割れ充填工・ひび割れ注工・断面修復工
	代福橋補修工事 (町道八平西線)	8,451	L=12.5m W=5.0m 表面含浸工・ひび割れ注工・橋面防水工・舗装工
	満江1号橋補修工事 (町道横手第11号線)	7,693	L=13.3m W=4.8m 表面含浸工・鏡面防水工・舗装工
	0068-1号橋補修工事 (町道南三・香焼線)	5,573	L=5.1m W=5.7m 表面含浸工・ひび割れ充填工・ひび割れ注工
小計		22,603	
合計		64,981	—

3 事業効果

予防保全型の維持補修管理により、安心安全の交通ネットワーク（道路網）を確保した。

年度	28	会計	一般会計									
款	8	項	2	目	4	細事業名	橋りょう長寿命化事業(繰越明許)				所属	建設課 建設係
目名称		橋りょう維持費				財源内訳					決算書頁	
決算額		6,479				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		(6,479)				3,587		2,000		892	121	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 3 節		体系的な交通網の整備・充実	

1 事業概要

白石町が管理する橋梁を良好な管理の下に可能な限り永く利用していくために、点検によって橋梁の現状を正確に把握し、そのデータを基に予防保全型の修繕計画策定を行い、橋梁の長寿命化及び橋梁の修繕・架替え等に係る費用の縮減と平準化を図る。

2 事業実績

予算科目		金額	主な業務・工事内容
15. 工事費	469-1号橋補修工事 (町道八平南北線)	6,479	L=8.5m W=6.6m 表面含浸工・ひび割れ充填工・ひび割れ注入工・・・断面修復工
	小計	6,479	
	合計	6,479	—

3 事業効果

予防保全型の維持補修管理により、安心安全の交通ネットワーク（道路網）を確保した。

単位:千円

年度	28	会計	一般会計			細事業名	りんりん公園整備事業				所属	建設課 建設係
款	8	項	5	目	2							
目 名 称		公園費				財 源 内 訳					決算書頁	
決 算 額 (予 算 額)		31,234 (32,551)				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
									20,342	10,892	123・124	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実				

1 事業概要

主要地方道武雄福富線の歩道設置が平成28年度佐賀県の事業により計画されており、JR白石駅舎及び駅前広場、白石町りんりん公園の一部が道路用地内にかかるため、移転整備を行う。

2 事業実績

区 分	金 額	主 な 事 業 内 容
09 旅費	14	普通旅費(JR九州協議)
11 需用費	24	印刷製本費
12 役務費	55	仮設トイレし尿汲取料
13 委託料	7,648	りんりん公園公衆用トイレ整備工事委託費
14 使用料及び賃借料	324	仮設トイレリース料
15 工事請負費	23,169	りんりん公園整備 A=474㎡ (舗装工、排水工、照明、ベンチ設置等)
計	31,234	

※公共施設整備基金 20,342千円充当

3 事業効果

白石駅舎及び周辺施設を移転することにより、県道武雄福富線歩道設置事業の円滑な推進を図ることができた。

単位:千円

年度	28	会計	一般会計									
款	8	項	5	目	2	細事業名	りんりん公園整備事業(繰越明許)				所属	建設課 建設係
目 名 称		公園費				財 源 内 訳					決算書頁	
決 算 額 (予 算 額)		19,296 (19,374)				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
									19,296		124	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実			

1 事業概要

主要地方道武雄福富線の歩道設置が平成28年度佐賀県の事業により計画されており、JR白石駅舎及び駅前広場、白石町りんりん公園の一部が道路用地内にかかるため、移転整備を行う。

2 事業実績

区 分	金 額	主 な 事 業 内 容
13 委託料	19,296	りんりん公園公衆用トイレ設計及び整備工事委託費
計	19,296	

※公共施設整備基金 19,296千円充当

3 事業効果

白石駅舎及び周辺施設を移転することにより、県道武雄福富線歩道設置事業の円滑な推進を図ることができた。

年度	28	会計	一般会計								単位:千円	
款	10	項	6	目	2	細事業名	パークゴルフ場整備費(繰越明許)				所属	建設課 建設係
目 名 称		体育施設費				財 源 内 訳					決算書頁	
決 算 額 (予 算 額)		41,220 (44,925)				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		152
										41,220		

白石町総合計画
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)

基本構想
第 4 章

個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】

基本計画
第 2 節

生涯学び楽しめる環境の充実

1 事業概要

健康で心豊かなライフスタイルの促進として、子供からお年寄りまでの世代間交流と生涯スポーツの振興と学校行事等のレクリエーションや地域内外の人々のコミュニケーションの場となるためのパークゴルフ場(敷地内総面積 A=7,530㎡)整備を行う。

2 事業実績

区 分	金 額	主 な 事 業 内 容
15 工事請負費	41,220	盛土造成、サイン設置、電気設備、深井戸ポンプ取替、水道仕切弁設置 公衆トイレ改修、排水対策
計	41,220	

3 事業効果

- ・パークゴルフの専用施設として整備するため、若者から高齢者まで一人からでも、いつでも利用できることで、町民の健康増進につながり、各種グループ団体の利用で町民の親睦が図られた。
- ・有明干拓記念公園を有効利用することができた。

年度	28	会計	一般会計									
款	8	項	7	目	1	細事業名	急傾斜地崩壊防止事業費				所属	建設課 維持管理係
目名称		砂防費				財源内訳					決算書頁	
決算額		992				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		(1,000)								992	126	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 2 節		災害に強く安全・快適な生活環境の整備			
1 事業概要	町内における急傾斜地等崩壊等の危険がある箇所についての測量調査等を行い、今後の対策の検討資料の作成を図った。											
2 事業実績	13 委託料	991,600 円	○鳥ノ巣ため池調査・対策概略設計業務委託		486,000 円							
			○急傾斜地樹木伐採業務委託		322,000 円							
			○急傾斜地崩壊防止事業測量設計業務委託		183,600 円							
3 事業効果	町内の急傾斜地に係る測量設計業務を行い、今後の対策及び工事施工に係る資料の作成を図ることができた。											

単位:千円

年度	28	会計	一般会計									
款	8	項	7	目	1	細事業名	急傾斜地崩壊防止事業費(繰越明許)			所属	建設課 維持管理係	
目名称		砂防費				財源内訳					決算書頁	
決算額		9,138				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		(10,000)					4,568			4,570	126	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章			ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 2 節		災害に強く安全・快適な生活環境の整備	

1 事業概要 町内における急傾斜地等崩壊等の危険がある箇所についての測量調査等を行い、今後の対策の検討資料の作成を図った。

2 事業実績 15 工事費 9,137,880 円

○室島地区急傾斜地崩壊対策工事	3,383,640 円
○大谷地区急傾斜地崩壊対策工事	5,754,240 円
計	9,137,880 円

3 事業効果 町内の急傾斜地等危険箇所に対して対策工事を行い、町民の安心安全な居住環境の整備を図ることができた。

年度	28	会計	一般会計			細事業名	公営住宅ストック総合改善事業	所属	建設課 建築住宅係		
款	8	項	6	目	2						
目名称	住宅管理費					財源内訳					
決算額	47,675					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
(予算額)	(74,698)					21,503				26,172	125・126
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実	

1 事業概要

老朽化により居住性や安全性が低下している町営住宅の補修等を行い、町営住宅の適正な管理を図った。

2 事業実績

節	予算額	決算額	内容説明
11需用費	50	28	事務用消耗品費、書籍代 28,018円
13委託料	3,534	1,533	廻里津住宅屋根改修工事設計監理業務 972,000円 廻里津住宅上水道給水方式変更工事設計監理業務 561,600円
15工事請負費	71,114	46,114	廻里津住宅屋根改修工事 37,260,000円 廻里津住宅上水道給水方式変更工事 8,853,840円
合計	74,698	47,675	

3 事業効果

老朽化した町営住宅の補修を行うことにより、施設の延命化を図ることができた。

年度	28	会計	一般会計			単位:千円						
款	10	項	1	目	3	細事業名	小学校ふるさと理解促進事業			所属	学校教育課 学校教育係	
目名称		教育振興費				財源内訳					決算書頁	
決算額		389				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	133	
(予算額)		(395)								389	133	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第4章			個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第1節		個性豊かで優れた人材の育成	
<p>1 目的</p> <p>小学校社会科において、第3・4学年時にわが町”白石町”について学習する。そこで「わたしたちの白石町」という資料集(学習ノート付き)を編集・製本し、当該学年児童全員に配布し授業で活用することで、わが町”白石町”に対する児童の理解を深めることを目的とする。</p> <p>2 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料集の編集(前回発行物を最新データへ修正等:各学校の社会科主任等の編集委員により) 資料の製本印刷(H29、H30、H31の3年分を一度に印刷製本予定) 資料集の配布 <p>3 事業実績</p> <p>11 需用費 004印刷製本費 480円×750部×1.08=388,800円</p> <p>4 事業の効果</p> <p>児童たちが住む町内各地域を超えて、白石町全体についての理解を深めるとともに、我がふるさとに対する興味・関心が高まった。</p>												

単位:千円

年度	28	会計	一般会計								
款	10	項	2・3	目	1	細事業名	学校教育支援員(スクールアシスタント)配置事業			所属	学校教育課 庶務係
目名称	学校管理費					財源内訳					決算書頁
決算額	42,202					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	134・138
(予算額)	(42,700)									42,202	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成
-------------------------------	---------------	-------------------------	---------------	---------------

1 事業概要

今の学校現場では、不登校(別室登校を含む)児童生徒への対応、障がい等の特別な支援が必要な児童生徒への対応、補充学習による学力の向上への対応など、児童生徒の個に応じた支援の充実が求められている。しかしながら限られた人員(教職員)での対応では十分な支援を行うことができていない状況にある。そこで、学校現場で児童生徒への個別対応に適した教育支援員を配置し、状況把握と早期に適切な対応を行うことにより、教職員の負担軽減と児童生徒へのきめ細やかな支援を行った。

- ・別室登校及び不登校児童生徒への対応補助
- ・障がい等により個別対応が必要な登校児童生徒への対応
- ・授業や補充学習の指導補助

2 事業実績

賃金(学校教育支援員賃金)

小学校(39人)	30,919,000	円
中学校(13人)	11,283,000	円
計	42,202,000	円

須古小	六角小	白石小	北明小	福富小	有明東	有明西	有明南
5人	4人	4人	5人	9人	4人	4人	4人

白石中	福富中	有明中
6人	4人	3人

3 事業効果

各学校現場において教育支援員を配置して、児童生徒のそれぞれの状況に応じた適切な支援を行うことにより、児童生徒へのきめ細やかな支援・補助が図れた。

年度	28	会計	一般会計			単位:千円						
款	10	項	2・3	目	2	細事業名	コミュニティ・スクール事業			所属	学校教育課 庶務係	
目名称		教育振興費				財源内訳					決算書頁	
決算額		2,891				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	136・137・140・141	
(予算額)		(3,462)				804				2,087		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成		
1 事業概要												
<p>熟議や協働のもと信頼される開かれた学校づくりを目的として、学校運営協議会を設置し、地域に根差したコミュニティ・スクールの導入のあり方と推進について、実践を通じて調査・研究を行った。</p>												
2 事業実績												
須古小学校	279,000	円	白石中学校	286,000	円							
六角小学校	144,000	円	福富中学校	299,864	円							
白石小学校	256,662	円	有明中学校	301,513	円							
北明小学校	261,205	円	計	887,377	円							
福富小学校	307,534	円										
有明東小学校	201,804	円										
有明西小学校	289,008	円	合計	2,890,590	円							
有明南小学校	264,000	円										
計	2,003,213	円										
3 事業効果												
<p>全小中学校において、保護者や地域の方に「学校支援サポーター」として関わってもらったことで、保護者や地域の方の学校への関心が高まった。</p>												

単位:千円

年度	28	会計	一般会計										
款	10	項	3	目	2	細事業名	放課後等補充学習支援事業			所属	学校教育課 庶務係		
目名称	教育振興費					財源内訳							
決算額	1,064 (予算額) (1,065)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁		
							630			434	140		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章			個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節			個性豊かで優れた人材の育成	

1 事業概要

町内中学校において、学習内容の定着が十分に図れていない生徒のため、地域の人材(退職教職員等の社会人や保護者、教員志望の大学生等)を活用し、放課後や長期休業中に補充学習を行うことにより、基礎学力の定着と学ぶ楽しさを味わわせ、学習への意欲づけと学習習慣の確立を図る。

2 事業実績

賃金(補充学習支援員支援員賃金)

中学校 1,063,680円 (1時間当たり 2,770円×128時間×3校)

白石中 2名
福富中 4名
有明中 10名

※補助限度1校 210,000円(補助率5分の3以内)
210,000円×3校分

3 事業効果

学習内容の定着が十分に図れていない生徒が、放課後や長期休業中に補充学習を受けることにより、基礎学力の定着と学習意欲を高めることができた。

年度	28	会計	一般会計			単位:千円						
款	10	項	4	目	1	細事業名	小学校施設整備費				所属	学校教育課 学校教育係
目名称		小学校施設整備費				財源内訳					決算書頁	
決算額		86,701				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	142	
(予算額)		(89,493)							86,000	701		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第4章			個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第1節		個性豊かで優れた人材の育成	

1 目的

町内の小学校施設の適切な維持管理のための改修工事を実施することで、児童の安全を確保するとともに、施設環境の充実に努める。

2 事業内容

- 修繕料(緊急を要する修繕、須古小体育館ステージ収納扉修繕ほか) 4,772,484 円
- 委託料(須古小外壁等改修工事監理業務、有明西小校舍屋上防水等改修工事設計業務ほか) 2,992,680 円
- 工事請負費(須古小外壁等改修工事、六角小屋内消火栓設備更新工事ほか) 78,936,120 円

86,701,284 円

※公共施設整備基金繰入金 86,000 千円充当

3 事業の効果

児童及び保護者並びに教育現場が安心安全な学校施設としての整備を図ることで、よりよい教育現場の整備することは必須であり、適切な維持管理により、保護者に安心をあたえ、児童の教育充実及び安全確保が図られる。

単位：千円

年度	28	会計	一般会計									
款	10	項	4	目	2	細事業名	中学校施設整備費				所属	学校教育課 学校教育係
目名称		中学校施設整備費				財源内訳					決算書頁	
決算額		39,869				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)		(41,529)							24,000	15,869	142	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成		
<p>1 目的 町内の中学校施設の適切な維持管理のための改修工事を実施することで、児童の安全を確保するとともに、施設環境の充実に努める。</p>												
<p>2 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■修繕料(緊急を要する修繕、有明中井戸給水用加圧ポンプ修繕ほか) 1,796,630 円 ■役務費(福富中部室建築確認手数料) 43,000 円 ■委託料(福富中部室新築工事監理業務) 486,000 円 ■工事請負費(福富中部室新築工事、白石中地盤沈下対策工事ほか) 37,543,122 円 <p style="text-align: right;">39,868,752 円</p> <p style="text-align: right;">※公共施設整備基金繰入金 4,000 千円充当 ふるさと基金 20,000 千円充当</p>												
<p>3 事業の効果 生徒及び保護者並びに教育現場が安心安全な学校施設としての整備を図ることで、よりよい教育現場の整備することは必須であり、適切な維持管理により、保護者に安心をあたえ、児童の教育充実及び安全確保が図られる。</p>												

年度	28	会計	一般会計								
款	10	項	05	目	03	細事業名	文化活動推進・文化財保護費			所属	生涯学習課 生涯学習係
目名称	文化活動推進・文化財保護費					財源内訳					
決算額	4,486 (予算額) (4,951)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 146・147
								2,761	1,725		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第4章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】				基本計画 第3節	地域文化の伝承と新たな魅力の創造	

1 事業概要

- ・文化活動推進:九州・全国及び世界的団体が主催する競技大会若しくは研究大会又は表彰式典等への出場者に対し、1人あたり、九州大会では5,000円、全国大会では10,000円、国際大会では50,000円を交付する。ただし、団体においては、10万円を限度とする。
- ・「愛」をテーマとする和歌を全国から募集する「歌垣の里・白石 三十一文字コンテスト」を開催し、入賞53首を選考し表彰する。
- ・文化財保護:開発行為と埋蔵文化財保護との調整を図る。指定文化財の維持管理・公開を委託する。各種文化財の調査及び啓発推進。
- ・町重要文化財(建造物)「水堂安福寺の宝塔」保存修復事業の補助。
- ・伝統芸能の保存・伝承に必要な不可欠な用具の購入及び修理に要する経費に対し、一団体当たり年度内で10万円を限度として、2分の1以内を助成する。

2 事業実績

01 報酬				0 円
08 報償費	219千円	三十一文字コンテスト選者謝金		60,000 円
		三十一文字コンテスト入賞記念品代		159,000 円
09 旅費				0 円
11 需用費	91千円	消耗品費		16,626 円
		三十一文字コンテスト入賞歌集印刷費		74,520 円
12 役務費	92千円	三十一文字コンテスト募集チラシ・選考結果等送料		92,578 円
13 委託料	603千円	指定文化財維持管理委託料(11団体2個人)		215,000 円
		埋蔵文化財確認調査等作業委託料		82,760 円
		三十一文字コンテスト掲示板作成設置委託料(3基)		305,100 円
14 使用料及び賃借料	173千円	埋蔵文化財確認調査用掘削機借上料		172,800 円
19 負担金、補助及び交付金	3,308千円	町重要文化財(建造物)「水堂安福寺の宝塔」保存修復補助金		421,000 円
		伝承芸能保存育成助成金(4団体)		126,000 円
		文化振興財団自主事業補助金		2,696,002 円
		文化振興激励費交付金(延べ7人-全国大会6人・九州大会1人)		65,000 円

※21世紀人づくり基金 65千円充当
 ※佐賀県市町村振興協会交付金 2,696千円充当

3 事業効果

地域の文化の向上と活性化を期し、ふるさと白石町の歴史に対する興味関心を醸成し、郷土に対する誇りと愛着心を増進させることができた。

年度	28	会計	一般会計									
款	10	項	05	目	04	細事業名	青少年育成費				所属	生涯学習課 生涯学習係
目名称	青少年育成費					財源内訳					決算書頁	
決算額	2,777 (予算額) (3,223)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	147	
							300		1,558	919		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第4章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】				基本計画 第1節	個性豊かで優れた人材の育成	

1 事業概要

- ・ 青少年の健全育成を積極的に推進するために、地域の人たちや関係団体との協力のもと、地域ぐるみで見守り、地域を拠点とした文化活動、野外活動、自然活動を行う。
- ・ 自然の中で、たくましさと自主性を学び、友情を育み、自然体験をとおして子ども達の資質を高め、白石町の青少年リーダー育成をめざす。
- ・ 放課後子ども教室推進事業 国1/3、県1/3、市町1/3 補助対象経費450千円×2/3=300千円
 - おおどぼう倶楽部・・・町内小学校4～6年生の希望者(H28:40名)に、野外活動を中心とした年間7回の体験学習活動を行う。
 - ジュニア合唱教室・・・小学生の希望者(H28:10名)を対象に、毎月第2第4土曜日、合唱の指導を行う。
- ・ 青少年育成町民会議では、通学合宿、防犯パトロール、花いっぱい運動の推進及び青少年育成団体への助成等を行っている。

2 事業実績

08 報償費	502千円	おおどぼう倶楽部特別講師謝金	38,000円
		おおどぼう倶楽部指導者謝金	236,160円
		ジュニア合唱教室講師謝金	228,000円
09 旅費	1,334千円	おおどぼう倶楽部旅費	1,333,814円
11 需用費	292千円	消耗品費	96,468円
		食糧費	195,555円
12 役務費	66千円	通信運搬費	3,846円
		傷害保険料	62,196円
14 使用料及び賃借料	90千円	会場借上料	14,590円
		体験施設使用料	75,800円
19 負担金、補助及び交付金	493千円	青少年育成町民会議補助金	492,962円

H28おおどぼう倶楽部

回	内容	開催日	場所
1	開講式&黒髪山で友だち作り	6/4~5	佐賀県黒髪少年
2	杵島山探検ウォークラリー	7月2日	杵島山周辺
3	大島村で漁師になろう	8/7~9	長崎県平戸市大島村
4	ミニガタリンピック大会	9月24日	鹿島市「道の駅 鹿島」
5	安心院で農村民泊だ	10/22~23	大分県宇佐市安心院町
6	いのちの授業(出前授業)	12月17日	福富ゆうあい館
7	閉講式&お別れ会	1月28日	ふれあい郷『遊喜館』

※21世紀人づくり基金 820千円充当

※参加料 738千円充当

3 事業効果

青少年育成事業をとおし、地元の人たちの指導・協力・サポートによって、白石町の子ども達がたくましく元気に育ち、安全で明るい地域づくりに寄与した。子どもたちの生きる力を育み、地域教育力の向上が図られる。また、集団での自然体験を行うことにより、自然の美しさ・厳しさを体感し、自立を促し、社会の一員としての責任感を知り、白石町の子どもとしての様々な能力を養った。

年度	28	会計	一般会計								
款	10	項	05	目	05	細事業名	ふくどみマイランド管理費 (駐車場トイレ改築)			所属	生涯学習課 福富公民館係
目名称	社会教育施設費					財源内訳					
決算額	33,709 (予算額) (37,010)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 148・149
(予算額)								30,000		3,709	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第4章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第2節		生涯学び楽しめる環境の充実	

1 事業概要

ふくどみマイランド公園駐車場トイレは、平成5年に建築され24年が経過していることから、外壁タイルの剥離や便房ドアの劣化が激しく、また汲取り式の和式トイレであるため高齢者や女性をはじめ子ども達からも、利用しにくいとの声が以前から上がっていた。
以上の事から、今後、ふくどみマイランド公園に訪れる利用者が安心して活用できるよう、トイレの改築工事を計画した。

2 事業実績

予算科目		金額	主な業務・工事内容
13. 委託料	実施設計業務	1,279	トイレ改築 実施設計
	工事監理業務	486	トイレ改築 工事監理
15. 工事請負費	工事請負費	31,944	鉄筋コンクリート造 平屋建 延床面積31.75㎡ 水洗化(浄化槽設置) (女性便所) 洋式2基 和式1基 (男性便所) 洋式1基 小便器2基 子ども用小便器1基 (多目的便所) 洋式1基 子ども用洋式1基 オストメイト1基
合計		33,709	—

3 事業効果

今回のトイレ改築工事実施により、利用者が安心してマイランド公園の各施設を利用できる。

年度	28	会計	一般会計									
款	10	項	6	目	1	細事業名	町スポーツ大会費				所属	生涯学習課 生涯スポーツ係
目名称	保健体育総務費					財源内訳					決算書頁	
決算額	846 (予算額) (1,056)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	150・151	
(予算額)										846		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第4章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】				基本計画 第2節	生涯学び楽しめる環境の充実		

1 事業概要

事業名	自治公民館対抗女子ソフトバレーボール大会	自治公民館対抗男子ソフトボール大会	ニュースポーツ講習会及びニュースポーツフェスティバル
開催日	平成28年6月12日(日)	平成28年9月11日(日)	平成28年5月18日(水)・平成28年11月20日(日)
会場	白石社会体育館・白石中学校体育館	白石町総合運動場他9会場	白石社会体育館・有明スカイパークふれあい郷「自有館」
内容	参加37チームを、6つのコートに分けて、環状リーグ戦2パート方式で女子ソフトバレーボール大会を実施。	参加67チームを9クラスに分けてのトーナメント方式で、男子ソフトボール競技大会を実施。	ヒットだ!ターゲット、輪投げ、バンゴ、ダーツ、スカットボール、シャッフルボード、キンボール、モルック、スラックライン、ペタンク、ドッジビー、紙飛行機などニュースポーツを実施。

2 事業実績

参加人数等	109公民館中37チーム(白石6チーム、福富9チーム、有明22チーム)、人数にして選手約296人。	109公民館中67チーム(白石42チーム、福富9チーム、有明16チーム)、人数にして選手約1,206人。	ニュースポーツ講習会で30名参加。 ニュースポーツフェスティバルで160名参加。 参加者は複数の種目に参加している。
事業費	8.報償費 158,100円 11.需用費 77,055円 13.委託料 14,000円	8.報償費 305,897円 11.需用費 162,063円 16.原材料費 35,400円	8.報償費 60,000円 11.需用費 33,372円
事業費計	249,155円	503,360円	93,372円

3 事業効果

事業効果	第4回大会の実施。全町行事であり、大会前の練習も地域ごとで熱心に行われており、大会当日のみならず全町的な盛り上がり寄与した。	第5回大会の実施。全町行事であり、クラスランク付けを実施して同レベル同士が競技し全町的な盛り上がり寄与した。	手軽なニュースポーツを体験していただき、多くの参加者の方がニュースポーツに対し興味を持たれることで町民の健康増進に寄与した。
------	--	--	--

年度	28	会計	一般会計									
款	10	項	6	目	1	細事業名	ロードレース大会費 (歌垣の郷ロードレース大会)				所属	生涯学習課 生涯スポーツ係
目名称	保健体育総務費					財源内訳					決算書頁	
決算額	3,843 (予算額) (4,000)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	151	
(予算額)								3,000		843		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第4章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】				基本計画 第2節	生涯学び楽しめる環境の充実		

1 事業概要

歌垣の郷ロードレース大会

「しろいし」の知名度を全国的に高めるため、歌垣の郷ロードレース大会を開催し町のPR活動と活性化を図る。

- ① 大会開催日:平成29年3月12日(日)(さがさくらマラソン開催を考慮して、週を早めて実施)

大会参加者:第22回 2,272人(平成28年度)

競技種目:日本陸連公認コース10kmの部・5kmの部・3kmの部・2kmの部・ファミリージョギングの部

合計5種目 15競技を実施

※参考 競技申込者:第1回769名 第2回985名 第3回1,115名 第4回1,503名 第5回2,104名 第6回2,014名
第7回2,185名 第8回2,343名 第9回2,324名 第10回2,946名 第11回2,522名 第12回2,718名
第13回2,776名(平成19年度) 第14回2,788名(平成20年度) 第15回2,701名(平成21年度) 第16回2,814名(平成22年度)
第17回2,720名(平成23年度) 第18回2,784名(平成24年度) 第19回2,746名(平成25年度) 第20回3,154名(平成26年度)
第21回2,575名(平成27年度)

- ② 企画・運営:実行委員会形式による大会の企画・運営

実行委員会の構成メンバー:委員長はじめ総勢30名で構成(陸上関係者・学校・スポーツ推進委員等)

タイム計測(タグ付き)者については、前回大会から参加料を一律500円値上げしている。(500円→1,000円、1,500円→2,000円)

2 事業実績

13. 委託料

歌垣の郷ロードレース大会実行委員会へ委託 3,842,563円

- ① 前回の12月に日本陸連公認検定を実施(10キロ)。公認期間 2016年1月1日~2020年12月31日

- ② 実行委員会を10月から3月まで計4回開催

- ③ 大会実行委員会の総事業費(町委託料のほか参加料等の収入を含む) 7,644,575円

3 事業効果

ロードレース大会を開催することにより、町の活性化、「駅伝の町白石」のPR、町民へのスポーツ意識の高揚を図ることができた。

県内外の実力ある高校選手などを招待して、大会を盛り上げ、今後の駅伝の町白石を継続するための工夫ができた。

年度	28	会計	一般会計								
款	10	項	6	目	2	細事業名	白石社会体育館改修事業費			所属	生涯学習課 白石公民館係
目名称	体育施設管理費					財源内訳					
決算額	1,912 (予算額) (1,912)					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 152
									1,912		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第4章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】				基本計画 第2節	生涯学び楽しめる環境の充実	

1 事業概要

白石社会体育館は昭和51年に建設され、屋根からの雨漏りが発生しており、外壁や内部壁材・建具等の老朽化が激しい状況である。主要な社会体育施設として、また災害時の指定避難所として利用者が安全で安心して活用できるよう、改修工事に向けた設計業務を委託する。

※ 白石社会体育館

- ・ 建築年 昭和51年
- ・ 構造 1階 鉄筋コンクリート造 床面積 1641.73 m²
2階 鉄骨造 床面積 331.58 m²

2 事業実績

節	契約名	委託料	備考 (主な改修内容)
委託料	平成28年度白石社会体育館改修工事設計業務委託	1,911,600円	屋根、外壁、内壁・建具、各種塗装、及び外溝の改修

3 事業効果

改修工事の設計ができたことにより、改修計画を円滑に進めることができる。